

木更津市食育推進アクションプラン進行管理票 (令和4年度)

木更津市食育計画のキャッチフレーズ
～いきる つながる 食育のチカラ～

【食育推進アクションプラン取組評価（令和4年度）・取組計画（令和5年度）】

木更津市食育推進計画における位置づけ			担当課	目標	番号	区分	令和4年度取組内容	取組の実施状況（R4）	一次評価	一次評価の理由 取組上の課題・問題点・改善等	令和4年度実施結果に 基づく改善内容	令和5年度取組内容
基本方針	取り組みの方向	具体的な取り組み内容（指針）										
1 生涯にわたるライフステージに応じた切れ目のない食育の推進	ライフスタイルや多様な暮らしに対応した食育の推進	①妊娠期の食育の推進	健康推進課		1	新規	妊娠中の栄養指導の方法について検討し、妊婦等へ向けた栄養講座をモデル事業として実施します。 現状：初産婦向けの「プレママ講座」の講義内で、一部栄養について講義を行っている。 実施回数 目標：年1回	栄養講座を開催し、妊娠中期(妊娠16週から27週)の妊婦に、栄養管理の必要性の理解と動機づけを図りました。7名参加。 1回実施(12月)	A	目標実施回数を達成	対象者に対する参加率が3.7%と低いため、実施体制と周知方法の検討を行います。	妊娠中期(妊娠16週から27週)の妊婦に、マタニティ栄養講座を実施し、栄養管理の必要性の理解と動機づけを図ります。 実施回数 現状：年1回 目標：年6回
			健康推進課	妊娠をきっかけにして、望ましい食生活について、知ることができる	2	継続	母子健康手帳交付時に、毎年度見直した新たな妊娠・子育て応援ブックを配付し、母子保健コーディネーターによる個別指導を実施します。 離乳食講習時のアンケートで参考になったと回答する人の割合 現状：(R元) 91.7% 目標：92%	母子手帳交付時に、妊娠・子育て応援ブックを用いて母子保健コーディネーターによる個別指導を実施し、望ましい食生活や妊娠期の注意点などについて伝えました。 離乳食講習時の調査で参考になったと回答する人の割合 77%	B	目標の84%を達成。 新型コロナウイルスの影響により令和2年度より調査方法を変更したこと、またアンケート内容を栄養に特化したことにより評価への影響が考えられます。	母子健康手帳交付時に、妊娠・子育て応援ブックを配付し、母子保健コーディネーターの指導状況を確認し、対象者のニーズを踏まえた指導内容を検討します。 現状：77% 目標：93%	
			健康推進課	妊婦歯科健康診査の受診率の増加	3	継続	妊娠期の歯周病予防が早産や低体重児の発症リスク軽減に関連していることから、妊婦歯科健康診査（妊娠期間中に1回無料で協力歯科医療機関で受けられる歯科健診）を実施します。 受診率 現状：(R2) 27.7% 目標：37.5%	市内52協力歯科医療機関において、妊婦を対象とした個別歯科健診を実施しました。また、受診率向上に向けて対象者アンケートおよびSNSを活用した受診勧奨を実施しました。 受診率 35.9%	B	目標の95%を達成	健診の認知度を高め、受診の必要性を感じる人を増やすことができよう更なる周知に努めます。	妊娠期の歯周病予防が早産や低体重児の発症リスク軽減に関連していることから、妊婦歯科健康診査（妊娠期間中に1回無料で協力歯科医療機関で受けられる歯科健診）を実施します。また、引き続き、受診率向上に向けてSNSを活用した受診勧奨を実施します。 受診率 現状：35.9% 目標：38.0%
	健康推進課		4	継続	乳児健康診査（4か月児）受診の保護者を対象に離乳食講習を実施します。 実施率 現状：(R元) 67.8% 目標：100%	乳児健康診査（4か月児）受診の保護者を対象に離乳食講習を実施し、離乳食の目的や進め方などについて伝えました。 実施率98.9%	B	目標の98%を達成。 対象者の自己都合により受講しない場合があります。	対象者を来所者全員から第1子の保護者および第2子以降の希望する保護者へ変更し、ニーズに合わせて効率的な実施に努めます。	乳児健康診査（4か月児）受診の保護者を対象に離乳食講習を実施し、離乳食の目的や進め方などについて伝えました。 実施率 現状：98.9% 目標：100%		
	健康推進課	食事の基礎作りの推進	5	継続	1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査時に栄養指導を実施します。 実施率 現状（R元）：1.6歳児健診99.7% 3歳児健診99.5% 目標：1.6歳児健診100% 3歳児健診100%	1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査の来場者を対象に、問診票をもとに食生活の確認とアドバイスを中心とした個別栄養指導を実施しました。 1.6歳児健診99.4% 3歳児健診99.1%	B	いずれも目標の99%以上を達成。 対象者の自己都合により栄養指導を実施できない場合があります。	兄弟姉妹の送迎の都合で健診会場での実施が難しい場合は電話での対応をする等、引き続き全数実施に努めます。	1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査時に来所者全員に、問診票をもとに個別栄養指導を実施します。 実施率 現状：1.6歳児健診99.4% 3歳児健診99.1% 目標：1.6歳児健診100% 3歳児健診100%		
	健康推進課	産婦歯科健康診査の受診率の増加	6	継続	産後の口腔衛生状態が、こどものむし歯発症リスク軽減と関連していることから、乳児（1歳未満）をもつ母を対象に、お子さんが1歳になるまでの間に1回無料で協力歯科医療機関で受けられる産婦歯科健康診査を実施します。 受診率 現状：11.1% 目標：12.5%	市内52協力歯科医療機関において、産婦を対象とした個別歯科健診を実施しました。また、受診率向上に向けて対象者アンケートおよびSNSを活用した受診勧奨を実施しました。 受診率 17.8%	A	目標の受診率を達成	健診の認知度を高め、受診の必要性を感じる人を増やすことができよう更なる周知に努めます。	産後の口腔衛生状態が、こどものむし歯発症リスク軽減と関連していることから、乳児（1歳未満）をもつ母を対象に、お子さんが1歳になるまでの間に1回無料で協力歯科医療機関で受けられる産婦歯科健康診査を実施します。また、引き続き、更なる受診率向上に向けてSNSを活用した受診勧奨を実施します。 受診率 現状：17.8% 目標：18.0%		

木更津市食育推進計画における位置づけ			担当課	目標	番号	区分	令和4年度取組内容	取組の実施状況 (R4)	一次評価	一次評価の理由 取組上の課題・問題点・改善等	令和4年度実施結果に基づく改善内容	令和5年度取組内容
基本方針	取り組みの方向	具体的な取り組み内容(指針)										
1 生涯にわたるライフステージに応じた切れ目のない食育の推進	ライフスタイルや多様な暮らしに対応した食育の推進	②乳幼児期の食育の推進	健康推進課	3歳児歯科健康診査時にかかりつけ歯科医を持っている児の増加に向けた取り組みの推進	7	継続	2歳6か月～3歳未満の幼児を対象に、2歳児歯科健康診査(1回無料で協力歯科医療機関で歯科健診およびフッ化物歯面塗布)を実施します。 受診率 現状：40.7% 目標：70.9%	市内50協力歯科医療機関にて、2歳6か月～3歳未満の幼児を対象に、2歳児歯科健康診査を実施しました。また、受診率向上に向けて対象者アンケートおよびSNSを活用した受診勧奨を実施しました。 受診率 52.3%	C	3歳児健診時に実施した2歳児歯科健診に関するアンケート結果から、受診しなかった理由として「健診を知らなかった」と回答した人が最も多かったことから、目標の受診率を達成するためには更なる周知が必要です。	健診の認知度を高めるため、周知の機会を増やします。	健診対象者への個別通知を継続実施するとともに、SNSによる受診勧奨回数を1回(R4年度)から3回に増やします。 また、1歳6か月児健診時に、受診者から歯科受診が何歳ごろか望ましいか相談を受ける機会が多くなることから、あらたに、1歳6か月児健診の個別歯科指導にて、2歳児歯科健診があることを周知するとともに、健診の活用を推進します。
			健康推進課	巡回口腔衛生指導実施園数の増加または維持	8	継続	歯の健康づくりの基盤作りのため、市内の保育園・幼稚園を対象に園児(3・4・5歳児)に巡回口腔衛生指導を実施します。 実施者数 現状：保育園16園・幼稚園2園 計1,329人 目標：保育園15園・幼稚園12園 計2,200人	歯の健康づくりの基盤作りのため、市内の保育園・幼稚園を対象に園児(3・4・5歳児)に巡回口腔衛生指導を実施しました。 実施者数 保育園15園・幼稚園10園 計1,693人	B	新型コロナウイルス感染症の影響により、未実施幼稚園があり、目標人数を達成できなかった。	各園へ実施協力依頼を実施します。	歯の健康づくりの基盤作りのため、市内の保育園・幼稚園を対象に園児(3・4・5歳児)に巡回口腔衛生指導を実施します。また、引き続き、感染症流行に対し柔軟な対応をとることで全ての園で実施できるようにします。 実施者数 現状：保育園15園・幼稚園10園 計1,693人 目標：保育園16園・幼稚園12園 計2,200人
			健康推進課	お口の機能発達動画の閲覧数の増加	9	拡大	口腔機能に関する知識の普及を図るため、市ホームページに口腔機能の発達に関する資料および動画を配信します。 視聴回数 現状：入門編281回、実践編①217回、実践編②167回 目標：入門編580回、実践編①440回、実践編②340回	乳児健診や7か月児教室の対象者へ、口腔機能の発達に関する資料および動画を周知することで、知識の普及啓発を行いました。 視聴回数(掲載当初からの積算) 入門編517回、実践編①405回、実践編②314回	B	目標の80%以上を達成	周知場所を更に増やすことができるよう努めます。	口腔機能に関する知識の普及を図るため、市ホームページに口腔機能の発達に関する資料および動画を配信します。 視聴回数 現状：入門編517回、実践編①405回、実践編②314回 目標：入門編870回、実践編①660回、実践編②510回
			こども保育課	保護者が食育の大切さについて知り、家庭でも取り組む	10	新規	わかば保育園内で新たに開始する地域子育て支援の中で、子育てについての相談や情報の提供、助言を行うとともに、食育に関する啓発を行います。 啓発人数：目標年間220日500人	10月に開設した、わかば子育て支援センターで、子育てについての相談や離乳食・幼児食についての情報提供、助言を行うとともに、食育に関する啓発を行いました。 啓発人数： 831組	A	目標を達成	支援センター内での情報提供を推進します。	令和4年10月に開設した、わかば子育て支援センターで、子育てについての相談や離乳食・幼児食についての情報提供、助言を行うとともに、食育に関する啓発を行います。 啓発人数：現状 831組 目標 1,000組
	③学童期の食育の推進	健康推進課	巡回口腔衛生指導実施校数の維持	11	継続	自身でむし歯や歯周病が予防できるよう知識の普及啓発のため、市立小学校の児童(1年生および学校希望学年)を対象に巡回口腔衛生指導を実施します。 実施者数 現状：小学校12校 1,062人 目標：全小学校18校 1,900人	自身でむし歯や歯周病が予防できるよう知識の普及啓発のため、市立小学校の児童(1年生および学校希望学年)を対象に巡回口腔衛生指導を実施しました。 実施者数 小学校全18校 1,095人	A	目標校数を達成	引き続き全小学校で実施していきます。	自身でむし歯や歯周病が予防できるよう知識の普及啓発のため、市立小学校の児童(各校4・5年生のいずれかの学年と希望学年)を対象に巡回口腔衛生指導を実施します。 実施者数 現状：小学校18校 1,095人 目標：小学校18校 1,250人	
		健康推進課	フッ化物洗口実施校数の増加	12	拡大	永久歯のむし歯予防を目的に、フッ化物洗口(週1回小学校(1～6年生の希望者)でフッ化物溶液を用いてブクブクがいをする)を実施します。 実施者数 現状：(R元)小学校10校 1,682人 目標：小学校14校 2,600人	令和2・3年度は新型コロナウイルス感染症の影響から小学校では中止となっていました。が、感染対策を講じて、一部小学校で実施することができました。 実施者数 小学校1校 325人	C	感染症の影響から実施校数の拡大が困難な状況です。	実施校の増に向けて、関係機関との連携を深め、学校で実施しやすい体制を構築していきます。	永久歯のむし歯予防を目的に、フッ化物洗口(週1回小学校(1～6年生の希望者)でフッ化物溶液を用いてブクブクがいをする)を実施します。また、学校が実施しやすい体制を構築していきます。 実施者数 現状：小学校1校 325人 目標：小学校16校 3,200人	

木更津市食育推進計画における位置づけ			担当課	目標	番号	区分	令和4年度取組内容	取組の実施状況 (R4)	一次評価	一次評価の理由 取組上の課題・問題点・改善等	令和4年度実施結果に 基づく改善内容	令和5年度取組内容
基本方針	取り組みの方向	具体的な取組 内容(指針)										
1 生涯にわたるライフステージに応じた切れ目のない食育の推進	ライフスタイルや多様な暮らしに対応した食育の推進	③学童期の食育の推進	学校教育課	各小中学校において、計画的な食育の推進	13	拡大	各小中学校において各年度ごとに食育の全体指導計画を作成し、計画的に実施します。 実施校数 現状：小中学校24校 目標：全小中学校30校	実施校数 小中学校27校 (小学校全18校) (中学校9校)	B	現状の24校より増加したものの目標には達成していないため	未作成の中学校3校に作成の働きかけをしていきます。	各小中学校において各年度ごとに食育の全体指導計画を作成し、計画的に実施します。 実施校数 現状：小中学校27校 目標：全小中学校30校
			学校給食センター 学校給食課	地産地消の食材を取り入れた献立の充実	14	継続	地元で生産された食材の優先使用に努め、11月の千産千消デーの取り組みを給食だよりや掲示物等を活用し情報発信します。 地元生産食材使用率 現状：81.3% 目標：85%以上	地元で生産された食材を学校給食で提供し、11月の千産千消デーの取り組みを給食時間での校内放送や給食だより、掲示物、ホームページ等で情報発信しました。 地元生産食材使用率 71.1%	B	天候等により予定した食材の産地の納品がなかった。旬の季節に合わせた地産食材の活用も必要です。	協力関係者と連携し、市場の流通状況や産地情報を意識した献立作成に取り組む。	地元で生産された食材の優先使用に努め、11月の千産千消デーの取り組みを給食だよりや掲示物等を活用し情報発信します。 地元生産食材使用率 現状：71.1% 目標：85%以上
			環境政策課	地元生産品の地域内消費の促進	15	拡大	様々な世代の地球温暖化対策への意識向上を図るため、小学5年生全員に環境教育の副読本「エコノート」を配布し、夏休み等の長期休暇の課題として各家庭で取り組んでもらい、地球温暖化対策の一つである地産地消の推進を図ります。 取組率 現状：75% 目標：78% ※エコノートをきっかけとした環境への取組をアンケート調査で確認	令和4年7月4日に小学5年生を対象に1,372冊のエコノートの配布しました。 夏休み後の令和4年8月10日以降にアンケートを実施しました。 取組率 70%	B	目標の80%以上を達成	より、エコノートを基に取り組んでもらうために、アンケート結果を基に、働きかけを強化していきます。	様々な世代の地球温暖化対策への意識向上を図るため、小学5年生全員に環境教育の副読本「エコノート」を配布し、夏休み等の長期休暇の課題として各家庭で取り組んでもらい、地球温暖化対策の一つである地産地消の推進を図ります。 取組率 現状：70% 目標：78% ※エコノートをきっかけとした環境への取組をアンケート調査で確認
		健康推進課	巡回口腔衛生指導実施校数の維持	16	継続	自身でむし歯や歯周病が予防できるような知識の普及啓発のため、全市立中学校の生徒(学校希望学年)を対象に巡回口腔衛生指導を実施します。 実施者数 現状：中学校9校 770人 目標：中学校12校 1,100人	自身でむし歯や歯周病が予防できるような知識の普及啓発のため、全市立中学校の生徒(学校希望学年)を対象に巡回口腔衛生指導を実施しました。 実施者数 中学校12校 1,069人	A	目標校数を達成	引き続き全中学校で実施していきます。	自身でむし歯や歯周病が予防できるような知識の普及啓発のため、全市立中学校の生徒(学校希望学年)を対象に巡回口腔衛生指導を実施します。 実施者数 現状：中学校12校 1,069人 目標：中学校12校 1,100人	
		健康推進課	フッ化物洗口実施校数の増加	17	拡大	永久歯のむし歯予防を目的に、フッ化物洗口(週1回中学校(1~3年生の希望者)でフッ化物溶液を用いてフクフクうがいをする)を実施します。 実施者数 現状：中学校3校 220人 目標：中学校3校 220人	感染対策を講じて、フッ化物洗口を実施しました。 実施者数 中学校3校 214人	A	目標校数を達成	引き続き、フッ化物洗口を実施していきます。	永久歯のむし歯予防を目的に、フッ化物洗口(週1回中学校(1~3年生の希望者)でフッ化物溶液を用いてフクフクうがいをする)を実施します。 実施者数 現状：中学校3校 214人 目標：中学校3校 220人	
		学校教育課	各小中学校において、計画的な食育の推進	13	拡大	各小中学校において各年度ごとに食育の全体指導計画を作成し、計画的に実施します。 実施校数 現状：小中学校24校 目標：全小中学校30校 【再掲】	実施校数 小中学校27校 (小学校全18校) (中学校9校)	B	現状の24校より増加したものの目標は未達成	未作成の中学校3校に作成の働きかけをしていきます。	各小中学校において各年度ごとに食育の全体指導計画を作成し、計画的に実施します。 実施校数 現状：小中学校27校 目標：全小中学校30校	
		健康推進課	市広報誌やSNS等を活用した食育に関する情報の提供	18	継続	市広報誌やSNS等を活用し、健康増進に関する食の情報を掲載します。 発信回数 現状：年3回 目標：年3回以上	市広報誌やSNS等を活用し、食に関する情報発信をしました。 9月 食生活改善普及月間について(市HP) 11月 幼児のおやつについて(市HP) 12月 口腔機能に関する動画の紹介(Facebook、Twitter)	A	目標回数を達成	年間計画を作成し、情報発信をしていきます。	市広報誌やSNS等を活用し、健康増進に関する食の情報を掲載します。 発信回数 現状：年3回 目標：年10回以上	
		⑤青年期の食育の推進	健康推進課	からだづくりや生活習慣病の発症・重症化予防のため、望ましい食生活についての理解・実践の推進	19	継続	単純肥満、腹囲基準値外の者を対象に、若年期健康診査事後の保健指導を実施します。 実施率 現状：93.3% 目標：95%以上	単純肥満、腹囲基準値外の者を対象に、若年期健康診査事後の保健指導を実施しました。 実施率 92.6%	B	目標の95%を達成	対象者により実施可能な方法を選択し、実施率向上に努めます。	単純肥満、腹囲基準値外の者を対象に、若年期健康診査事後の保健指導を実施します。 実施率 現状：92.6% 目標：95%以上

木更津市食育推進計画における位置づけ			担当課	目標	番号	区分	令和4年度取組内容	取組の実施状況 (R4)	一次評価	一次評価の理由 取組上の課題・問題点・改善等	令和4年度実施結果に 基づく改善内容	令和5年度取組内容
基本方針	取り組みの方向	具体的な取組 内容(指針)										
1 生涯にわたるライフステージに応じた切れ目のない食育の推進	ライフスタイルや多様な暮らしに対応した食育の推進	⑤青年期の食育の推進	健康推進課	適切な口腔ケアの定着に向けた取り組みの推進	20	継続	歯周病が重症化する前の青年期に向けた歯周病対策として、若年期健康診査の受診者を対象に、歯周病予防に関するチラシを作成・配布し、自身で適切な口腔ケアが行えるよう知識の普及を行います。 配布率 現状：62.3% 目標：100%	若年期健康診査受診者を対象に、歯周病予防に関するチラシを配布することで、歯周病予防に関する知識の普及啓発を行いました。 配布率 100%	A	目標を達成	継続して実施し、知識の普及啓発を行います。	歯周病が重症化する前の青年期に向けた歯周病対策として、若年期健康診査受診者を対象とした歯周病予防に関するチラシ配布を実施し、自身で適切な口腔ケアが行えるよう知識の普及を行います。 現状：100% 目標：100%
			生涯学習課 公民館	市民が安全・安心な食品を選択することができるよう啓発	21	拡大	青少年対象「クッキング教室」、成人対象「料理教室」、家庭教育学級の「味噌づくり教室」、発酵食を考える講座等、各公民館で手作りの大切さを学ぶ講座を開催し、啓発に努めます。 講座開催数 現状：10回(参加者数42人) 目標：15回(参加者約70人)	青少年対象「クッキング教室」、成人対象「料理教室」、家庭教育学級の「味噌づくり教室」、発酵食を考える講座等、各公民館で講座を開催した。 講座開催数 27回(参加者数423人)	A	複数の公民館の連携による取り組みで講座回数・参加者数が増加し、目標を達成。	新型コロナが5類になったことにより、取り組みの拡大が期待できます。	青少年対象「クッキング教室」、成人対象「料理教室」、家庭教育学級の「味噌づくり教室」、発酵食を考える講座等、各公民館で手作りの大切さを学ぶ講座を開催し、さらに啓発に努めます。 講座開催数 現状：27回(参加者数423人) 目標：30回(参加者約450人)
			健康推進課	からだづくりや生活習慣病の発症・重症化予防のため、望ましい食生活についての理解・実践の推進	22	継続	からだづくりや生活習慣病の合併症予防および重症化予防を目的として、食生活改善のための情報を市広報誌やSNS等で発信していきます。 配信回数 現状：年1回 目標：年1回以上	からだづくりや生活習慣病の合併症予防および重症化予防を目的として、食生活改善普及月間の9月に市HPで情報発信をしました。 配信回数：1回	A	目標回数を達成。	年間計画を作成し、情報発信をしていきます。	からだづくりや生活習慣病の合併症予防および重症化予防を目的として、食生活改善のための情報を市広報誌やSNS等で発信していきます。 現状：年1回(配信回数) 目標：年10回以上
	⑥壮年期の食育の推進	健康推進課	不自由なく咀嚼できる者の割合の増加に向けた取り組みの推進	23	拡大	むし歯や歯周病の早期発見・早期治療に繋げるため、満40・50・60歳を対象に成人歯科健康診査(期間中に1回、自己負担金1,000円(一部自己負担金なし))で協力歯科医療機関で受けられる歯科健診)を実施します。 受診率 現状(R2)：6.0% 目標：7%	市内52協力歯科医療機関において、むし歯や歯周病の早期発見・早期治療に繋げるため、満40・50・60歳を対象に成人歯科健康診査を実施しました。 受診率 5.8%	B	目標の受診率を達成できなかったため、また、受診率の低い原因を把握できていないことから、今後把握する必要があります。	受診率向上のため、対象者アンケートを実施します。	今年度の健診対象者に対し、アンケートを実施することで受診率が低迷する課題を把握し、課題解決に向け新たな取り組みを進めていきます。 また、SNSによる受診勧奨を2回(R4年度)から4回に増やし、各回の内容に変化を持たせつつ、受診の必要性を伝えていきます。 ※SNSの4回は、全年齢(40・50・60・70歳)を対象に予定している受診勧奨の合算回数	
		生涯学習課 公民館	広く市民への情報提供	24	拡大	市内全ての公民館で、公民館だより等に郷土料理の特集を組むなど積極的に掲載するとともに、文化祭では伝統食や和食、郷土料理に関する展示コーナーを設け、情報提供に努めます。 情報発信回数 現状：年1回 目標：年1回以上	公民館だよりにて食育に関するレシピの記事を掲載しました。 掲載回数；年6回 3館	C	新型コロナの影響が残り、料理に関する特集は積極的に組めなかった	新型コロナが5類になったことにより、取り組みの拡大が期待できます。	市内全ての公民館で、公民館だより等に郷土料理の特集を組むなど積極的に掲載するとともに、文化祭では伝統食や和食、郷土料理に関する展示コーナーを設け、情報提供に努めます。 情報発信回数 現状：年1回 目標：年1回以上	

木更津市食育推進計画における位置づけ			担当課	目標	番号	区分	令和4年度取組内容	取組の実施状況 (R4)	一次評価	一次評価の理由 取組上の課題・問題点・改善等	令和4年度実施結果に 基づく改善内容	令和5年度取組内容
基本方針	取り組みの方向	具体的な取組 内容(指針)										
1 生涯にわたるライフステージに応じた切れ目のない食育の推進	ライフスタイルや多様な暮らしに対応した食育の推進	⑦高齢期の食育の推進	健康推進課	加齢に伴う身体の変化・体力の低下に応じた食生活の実践の推進	25	新規	介護予防を視野に入れ、健康診査事後の個別相談や全公民館が実施する健康教室等の参加者への講話等で栄養指導を実施します。 実施回数 目標：年1回以上	介護予防を視野に入れ、健康診査事後の個別相談、公民館が実施する健康教室等の参加者への講話等で栄養指導を実施しました。 公民館等での講話実施回数：2回	A	目標回数を達成	引き続き栄養指導実施に努めます。	介護予防を視野に入れ、健康診査事後の個別相談や全公民館が実施する健康教室等の参加者への講話等で栄養指導を実施します。 実施回数 現状：年2回 目標：年20回以上
			健康推進課	不自由なく咀嚼できる者の割合の増加に向けた取り組みの推進	26	拡大	むし歯や歯周病の早期発見・早期治療に繋げるため、満70歳を対象に成人歯科健康診査(期間中に1回、無料で協力歯科医療機関で受けられる歯科健診)を実施します。 受診率 現状 (R2)：11.2% 目標：12%	市内52協力歯科医療機関において、むし歯や歯周病の早期発見・早期治療に繋げるため、満70歳を対象に成人歯科健康診査を実施しました。 受診率 9.5%	C	目標の受診率を達成できなかったため、また、受診率の低い原因を把握できていないことから、今後把握する必要があります。	受診率向上のため、対象者アンケートを実施します。	今年度の健診対象者に対し、アンケートを実施することで受診率が低迷する課題を把握し、課題解決に向け新たな取り組みを進めていきます。 また、SNSによる受診勧奨を2回(R4年度)から4回に増やし、各回の内容に変化を持たせつつ、受診の必要性を伝えていきます。 ※SNSの4回は、全年齢(40・50・60・70歳)を対象に予定している受診勧奨の合算回数
			高齢者福祉課	高齢者の口腔機能の向上	27	継続	口腔機能の向上のため、歯科衛生士を高齢者サロン等へ派遣し、口腔機能向上講話等を実施します。 実施回数 現状：年28回程度 目標：年28回程度	口腔機能の向上のため、歯科衛生士を高齢者サロン等へ派遣し、口腔機能向上講話等を実施しました。 実施回数 28回	A	目標回数を達成	歯科衛生士と講義の内容や資料等の見直しをし、内容の充実を図ります。	口腔機能の向上のため、歯科衛生士を高齢者サロン等へ派遣し、口腔機能向上講話等を実施します。 実施回数 現状：年28回程度 目標：年28回程度
2 家庭・学校・地域等それぞれの役割に応じた食育の推進	(1)家庭における食育の推進	①望ましい食習慣・生活リズムの確立の推進	こども保育課	子どもの望ましい食習慣及び生活リズムの確立	28	拡大	給食だより、食育だより、保護者参加行事等を通し、市立保育園在園児の保護者240世帯と地域子育て支援等利用者500世帯に対し、チラシの配布や相談時の対話を通して啓発を行います。 啓発世帯数 現状：740世帯 目標：740世帯	給食だよりや食育だよりの発行や、給食展示の際の啓蒙、また、相談時の対話や、チラシの配布を行いました。 啓発世帯数 990世帯	A	市立保育園(2園)及び支援センターにて、啓発を図り、世帯を達成。	給食だより(毎月、月末)食育だより(毎月19日)その他、随時発行。対話や啓発の機会の増加を図ります。	給食だより、食育だより、保育士参加行事等を通し、市立保育園在園児の保護者160世帯と地域子育て支援等利用者1000世帯に対し、チラシの配布や相談時の対話を通して啓発を行います。 啓発世帯数 現状：990世帯 目標：1240世帯
			健康推進課	基本的な生活習慣と食習慣の確立を図るため「早寝早起き朝ごはん運動」の推進	5	継続	1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査における栄養指導を実施します。 実施率 現状 (R元)：1.6歳児健診99.7% 3歳児健診99.5% 目標：1.6歳児健診100% 3歳児健診100% 【再掲】	1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査の来場者を対象に、問診票をもとに食生活の確認とアドバイスを中心とした個別栄養指導を実施しました。 1.6歳児健診99.4% 3歳児健診99.1%	B	いずれも目標の99%以上を達成。対象者の自己都合により栄養指導を実施できない場合があります。	兄弟姉妹の送迎の都合で健診会場での実施が難しい場合は電話での対応をする等、引き続き全数実施に努めます。	1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査時に来所者全員に、問診票をもとに個別栄養指導を実施します。 実施率 現状：1.6歳児健診99.4% 3歳児健診99.1% 目標：1.6歳児健診100% 3歳児健診100%
		こども保育課	妊娠をきっかけにして、望ましい食生活について、知ることができる	29	継続	母子健康手帳交付時に望ましい生活習慣及び食生活についての情報を提供します。 提供予定者数 現状：900人 (過去5年間の平均母子手帳交付数)	母子健康手帳交付時に望ましい生活習慣及び食生活についての情報を提供しました。 提供者数：930人(母子手帳交付数)	A	母子手帳交付者に情報提供実施。	引き続き情報提供を継続します。	母子健康手帳交付時に望ましい生活習慣及び食生活についての情報を提供します。 提供予定者数：900人	
		こども保育課	離乳食の大切さを知り、離乳食を正しく進めることができる	30	拡大	年3回の離乳食講座を通して、離乳食の大切さを知らせるとともに、楽しんで調理できるようなアドバイスを行います。 実施者数 現状：年13人 目標：年15人	離乳食の基本や食べさせ方などを伝える離乳食講座を年4回に加え、ミニ講座を開催し、支援しました。 参加者数：年44人	A	目標人数を達成	乳児検診等での周知を図り、第一子に限らず、食に抱える方の参加を促し、支援に取り組みます。	離乳食講座を通して、離乳食の大切さを知らせるとともに、楽しんで調理できるようなアドバイスを行います。 実施者数 現状：年44人 目標：年60人	
		健康推進課	望ましい食生活の実現と、健康づくりの基礎を身につけるための食育の推進	2	継続	母子健康手帳交付時に、毎年度見直した新たな妊娠・子育て応援ブックを配付し、母子保健コーディネーターによる個別指導を実施します。 参考になったと回答する人の割合 現状：(R元) 91.7% 目標：92% 【再掲】	母子手帳交付時に、妊娠・子育て応援ブックを用いて母子保健コーディネーターによる個別指導を実施し、望ましい食生活や妊娠期の注意点などについて伝えました。 参考になったと回答する人の割合 77% 【再掲】	B	目標の84%を達成。新型コロナウイルスの影響により令和2年度より調査方法を変更したため、評価への影響が考えられます。	母子保健コーディネーターの指導状況を確認し、対象者のニーズを踏まえた指導内容を検討します。	母子健康手帳交付時に、妊娠・子育て応援ブックを配付し、母子保健コーディネーターによる個別指導を実施します。 参考になったと回答する人の割合 現状：77% 目標：93%	

木更津市食育推進計画における位置づけ			担当課	目標	番号	区分	令和4年度取組内容	取組の実施状況 (R4)	一次評価	一次評価の理由 取組上の課題・問題点・改善等	令和4年度実施結果に基づく改善内容	令和5年度取組内容
基本方針	取り組みの方向	具体的な取り組み内容(指針)										
2 家庭・学校・地域等それぞれの役割に応じた食育の推進	(1)家庭における食育の推進	③家族との共食の推進	こども保育課	家族との共食の大切さを知り、家庭での食生活に活かす。	31	拡大	市立各保育園は園だより、給食だより、食育便り、保育参観、保育参加、個人面談等を通して、家族との共食の大切さを啓発していきます。 啓発回数 現状：12回 目標：15回	公立保育園において、園便り、給食だより、食育便りを通し、家族との共食の大切さについて、支援しました。 啓発回数：12回	B	保育参観や保育参加での取組が難しく、便りや面談を通して啓発を行った。	4年度の取組に加え、保育園行事の一環として、保育参観、保育参加の実施に向けて検討します。	市立各保育園は園だより、給食だより、食育便り、保育参観、保育参加、個人面談等を通して、家族との共食の大切さを啓発していきます。 啓発回数 現状：12回 目標：17回
			健康推進課	「食」の楽しさ、食事マナーやあいさつの習慣など、食生活の基礎が習得できるよう推進	5	継続	1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査における栄養指導を実施します。 実施率 現状 (R元)：1.6歳児健診99.7% 3歳児健診99.5% 目標：1.6歳児健診100% 3歳児健診100% 【再掲】	1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査の来場者を対象に、問診票をもとに食生活の確認とアドバイスを中心とした個別栄養指導を実施しました。 1.6歳児健診99.4% 3歳児健診99.1%	B	いずれも目標の99%以上を達成。 対象者の自己都合により栄養指導を実施できない場合があります。	兄弟姉妹の送迎の都合で健診会場での実施が難しい場合は電話での対応をする等、引き続き全数実施に努めます。	1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査時に来所者全員に、問診票をもとに個別栄養指導を実施します。 実施率 現状：1.6歳児健診99.4% 3歳児健診99.1% 目標：1.6歳児健診100% 3歳児健診100%
2 家庭・学校・地域等それぞれの役割に応じた食育の推進	(1)家庭における食育の推進	④食を楽しむ機会の提供	こども保育課	行事を通しての食を楽しむ場の提供	32	拡大	市立各保育園は季節の行事に合わせた給食を通して、園児に食を楽しむ機会を設けます。 実施回数 現状：年5回 目標：年7回	公立保育園において、季節に合わせた給食や行事食を提供し、園児が食を楽しむ機会を設け、支援しました。 実施回数：9回	A	目標回数を達成	季節に合わせた行事食を提供し、食を楽しむ機会を設けます。	市立各保育園は季節の行事に合わせた給食を通して、園児に食を楽しむ機会を設けます。 実施回数 現状：年9回 目標：年9回
			健康推進課	望ましい食習慣について学ぶ機会の提供	5	継続	1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査における栄養指導を実施します。 実施率 現状 (R元)：1.6歳児健診99.7% 3歳児健診99.5% 目標：1.6歳児健診100% 3歳児健診100% 【再掲】	1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査の来場者を対象に、問診票をもとに食生活の確認とアドバイスを中心とした個別栄養指導を実施しました。 1.6歳児健診99.4% 3歳児健診99.1%	B	いずれも目標の99%以上を達成。 対象者の自己都合により栄養指導を実施できない場合があります。	兄弟姉妹の送迎の都合で健診会場での実施が難しい場合は電話での対応をする等、引き続き全数実施に努めます。	1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査時に来所者全員に、問診票をもとに個別栄養指導を実施します。 実施率 現状：1.6歳児健診99.4% 3歳児健診99.1% 目標：1.6歳児健診100% 3歳児健診100%
			高齢者福祉課	管理栄養士が対象者宅へ訪問し、個別指導を行い、高齢者の望ましい食習慣づくりを支援	33	継続	高齢者の望ましい食習慣づくりを支援するため、要支援者等1人につき、短期間に集中(3カ月程度・計6回)して管理栄養士が個別に栄養改善や指導を行います。 実施回数 現状：年に4人程度 目標：年に4人程度	高齢者の望ましい食習慣づくりを支援するため、要支援者等1人につき、短期間に集中(3カ月程度・計6回)して管理栄養士が個別に栄養改善や指導を実施しました。 実施回数 4人×6回=24回	A	目標回数を達成	引き続き高齢者の望ましい食習慣づくりを支援します。	高齢者の望ましい食習慣づくりを支援するため、要支援者等1人につき、短期間に集中(3カ月程度・計6回)して管理栄養士が個別に栄養改善や指導を行います。 実施回数 現状：年に4人程度 目標：年に4人程度
			高齢者福祉課	介護予防教室において管理栄養士による栄養指導を行い、高齢者の望ましい食習慣づくりを支援	34	継続	1回2日間コースで管理栄養士による栄養講座などを行う「食と運動の元気アップ教室」(会場：公民館)を開催します。 開催回数 現状：8回程度(参加者約120人) 目標：8回程度(参加者約120人)	1回2日間コースで管理栄養士による栄養講座などを行う「食と運動の元気アップ教室」(会場：公民館)を開催しました。 開催回数 8回(参加者69人)	B	目標回数は達成したが、参加者数が目標数に満たなかったため	参加者数を増やすため、講座内容等の見直しをし、内容の充実を図ります。	1回2日間コースで管理栄養士による栄養講座などを行う「食と運動の元気アップ教室」(会場：公民館)を開催します。 開催回数 現状：8回程度(参加者69人) 目標：8回程度(参加者約120人)
			高齢者福祉課	自発的な介護予防に資する栄養改善・口腔機能の向上などの基本的知識を盛り込んだ介護予防パンフレットを配布し、高齢者のセルフマネジメントを促す	35	継続	サロンなどの開催時に一般高齢者に対し、介護予防パンフレットをファイルに綴じた介護予防手帳を配布します。 配布数(配布者数) 現状：年300冊程度 目標：年300冊程度	サロンなどの開催時に一般高齢者に対し、介護予防パンフレットをファイルに綴じた介護予防手帳を配布しました。 配布数(配布者数) 年280冊	A	概ね目標配布者数達成 ※サロンなどの開催時に来場者全てに配布できたことから、A評価とします。	パンフレットの内容の充実を図る	サロンなどの開催時に一般高齢者に対し、介護予防パンフレットをファイルに綴じた介護予防手帳を配布します。 配布数(配布者数) 現状：年300冊程度 目標：年300冊程度
			健康推進課	市広報誌やSNS等を活用した食育に関する情報の提供	18	継続	市広報誌やSNS等を活用し、健康増進に関する食の情報を掲載します。 発信回数 現状：年3回 目標：年3回以上 【再掲】	市広報誌やSNS等を活用し、食に関する情報発信をしました。 9月 食生活改善善及月間について(市HP) 11月 幼児のおやつについて(市HP) 12月 口腔機能に関する動画の紹介(Facebook、Twitter)	A	目標回数を達成	年間計画を作成し、情報発信をしていきます。	市広報誌やSNS等を活用し、健康増進に関する食の情報を掲載します。 発信回数 現状：年3回 目標：年10回以上

木更津市食育推進計画における位置づけ			担当課	目標	番号	区分	令和4年度取組内容	取組の実施状況 (R4)	一次評価	一次評価の理由 取組上の課題・問題点・改善等	令和4年度実施結果に 基づく改善内容	令和5年度取組内容				
基本方針	取り組みの方向	具体的な取組 内容(指針)														
2 家庭・学校・地域等それぞれの役割に応じた食育の推進	①保育園・認定こども園・幼稚園における食育の推進	子ども保育課	食育体験の充実	36	拡大	毎年作成される「保育の内容に関する全体的な計画」に定める「食育計画」により、市立各保育園は自ら育てた野菜を収穫したり、調理するなど食育体験の充実を図ります。 実施回数 現状：年15回 目標：年18回	各園「食育計画」を作成し、公立保育園にて自ら育てた野菜を収穫したり、調理するなど食育体験を実施しました。 実施回数：年15回	A	複数回、収穫をするものもあり、収穫回数のみで目標回数を優に超えるため、収穫体験をした野菜の種類とクッキング等の食育体験の回数も加えました。	引き続き「食育計画」を作成し、年間を通して食育の実施に取り組みます。	毎年作成される「保育の内容に関する全体的な計画」に定める「食育計画」により、市立各保育園は自ら育てた野菜を収穫したり、調理するなど食育体験の充実を図ります。 現状回数：15回 目標：21回					
						②給食の充実	子ども保育課	地産地消の食材や伝統食を取り入れた献立の充実	37	拡大	市立各保育園は引き続き、木更津産米を100%使用するとともに地元産食材を使った給食を日常的に提供していきます。また、地域に伝わる伝統食も毎月提供していきます。 提供回数 現状：年12回 目標：年14回	公立保育園では、木更津産米を100%使用し、地産地消を心がけた給食作り、また、千葉県産の郷土料理の提供をしました。 回数：16回	A	給食に使用する地元食材を増やしていくため、使用する地元食材の提供機会の拡大を図りました。	伝統食を継続して提供する上で、地元食材の活用数の拡大を目指します。	市立各保育園は引き続き、木更津産米を100%使用するとともに、地域に伝わる伝統食を提供する。また、地元産食材を使った給食を提供し、食材について知らせしていきます。 提供回数 現状：年16回 目標：年16回
											③食を通じた保護者への支援	子ども保育課	親子での食育体験を通じた食育に関する啓蒙活動の実施	38	拡大	市立各保育園は保育参加での試食や親子クッキングなどの行事や食育だより、給食だよりを通して食育を啓発していきます。 啓発回数 現状：年15回 目標：年15回
	③学校における食育の推進	学校教育課	各小中学校において、計画的な食育の推進	13	拡大	各小中学校において各年度ごとに食育の全体指導計画を作成し、計画的に実施します。 実施校数 現状：小中学校24校 目標：全小中学校30校	実施校数 小中学校27校 (小学校全18校) (中学校9校)	B	現状の24校より増加したものの目標未達成	未作成の中学校3校に作成の働きかけをしていきます。						各小中学校において各年度ごとに食育の全体指導計画を作成し、計画的に実施します。 実施校数 現状：小中学校27校 目標：全小中学校30校
						②給食の活用	行政・学校・生産者・食品関連事業者等の連携	39	継続	学校と連携し、生産者・協力事業者と地元農畜産物などを使用した特色ある学校給食を実施します。 実施校数 現状：小学校2校 目標：小学校2校 (鎌足小学校、中郷小学校)	循環型給食や地域の養豚場の豚肉を料理人とメニュー開発した特色ある学校給食を関係事業者と取り組みました。 実施校数 小学校2校 (鎌足小学校、中郷小学校)	A	特色ある学校給食を実施	循環できる食材を研究するとともに、特色のある学校給食が継続的に実施できるよう関係機関と連携し取り組みます。	学校と連携し、生産者・協力事業者と地元農畜産物などを使用した特色ある学校給食を実施します。 実施校数 現状：小学校2校 (鎌足小学校、中郷小学校) 目標：小学校2校 (鎌足小学校、中郷小学校)	
										学校給食センター 学校給食課	食に関する指導の全体計画に教育活動と関連付けた給食の計画を明記し、計画的に実施	40	拡大	食に関する指導計画に学校給食の関わりを明記し、教育活動と関連付けた給食の提供を行います。(調理施設数：11施設) 提供施設数 現状：4調理施設 目標：5調理施設	食に関する指導計画に学校給食の関わりを明記し、教育活動と関連付けた給食の提供を行いました。(地場産物や行事食等使用計画を作成) 提供施設数 8調理施設	A
	③家庭・地域・学校が連携した食農教育に関する取組の推進	学校教育課	小学校3～6年生の総合的な学習の時間における食農教育の推進	41	継続	小規模特認校制度推進事業を活用して、地域と連携した食農教育を進めます。 対象校：東清小、中郷小、鎌足小、富来田小 令和3年度から4校で開始	小規模特認校制度推進事業を活用して、地域と連携した食農教育を実施しました。 実施校 4校	A	目標を達成	継続して取り組んでいます。	小規模特認校制度推進事業を活用して、地域と連携した食農教育を進めます。 対象校：東清小、中郷小、鎌足小、富来田小 令和3年度から4校で開始					
						42	拡大	学校支援ボランティア活動推進事業等を活用し、地域と連携した食農教育を進めます。 実施校数 現状：小学校6校 目標：全小学校18校	学校支援ボランティア活動推進事業等を活用し、地域と連携した食農教育を実施しました。 実施校 小学校6校	C	現状維持となり、目標は未達成	未実施の学校に実施校の取り組みを紹介していきます。	学校支援ボランティア活動推進事業等を活用し、地域と連携した食農教育を進めます。 実施校数 現状：小学校6校 目標：全小学校18校			

木更津市食育推進計画における位置づけ			担当課	目標	番号	区分	令和4年度取組内容	取組の実施状況 (R4)	一次評価	一次評価の理由 取組上の課題・問題点・改善等	令和4年度実施結果に 基づく改善内容	令和5年度取組内容
基本方針	取り組みの方向	具体的な取り組み内容(指針)										
2 家庭・学校・地域等それぞれの役割に応じた食育の推進	③学校における食育の推進	③家庭・地域・学校が連携した食農教育に関する取組の推進	農業委員会	農業委員会及び地域の農業者が連携・協力して計画及び実施に取り組み、農業体験を通して「食」に対する意識の向上	43	拡大	5月 田植え体験 9月 稲刈り体験 対象 市内小学校 農業体験実施校の増加に努めます。 実施校数 現状：小学校5校 目標：小学校6校	農業体験実施校・東清小学校・南清小学校・岩根小学校・高柳小学校・鎌足小学校・中郷小学校計6校で実施	A	目標を達成	農業委員・農地利用最適推進委員とより連携し、学校側に働きかけていきます。	5月 田植え体験 9月 稲刈り体験 対象 市内小学校 農業体験実施校の増加に努めます。 実施校数 現状：小学校6校 目標：小学校7校
			学校教育課	教職員の食育に対する意識高揚と資質の向上	44	継続	教諭・養護教諭・栄養教諭を対象とする食育に関する研修の受講を推奨します。 推奨回数 現状：年1回 目標：年1回	教諭・養護教諭・栄養教諭を対象とする食育に関する研修の受講を推奨しました。 実施校 14校	C	目標未達成	未実施の学校に実施校の取り組みを紹介していきます。	教諭・養護教諭・栄養教諭を対象とする食育に関する研修の受講を推奨します。 推奨回数 現状：年1回 目標：年1回
			学校教育課	学校給食課、学校給食センターとの連携を図り、保護者への情報提供	45	拡大	給食だよりの発行、学校掲示物・ホームページの充実を図ります。 現状：随時 目標：随時	全校で給食だより・献立を毎月発行でき、さらに、多くの学校が様々な工夫をして情報提供できました。	A	目標を達成	更なる充実のため、各校の工夫を紹介していきます。	給食だよりの発行、学校掲示物・ホームページの充実を図ります。 現状：随時 目標：随時
			学校給食課	食育に関する情報の提供	46	拡大	各調理施設が給食だより等により保護者へ情報提供を行うため、農林水産課と連携し生産者等の画像等情報を提供します。 提供回数 現状：年2回 目標：年3回以上	各調理施設が給食だより等により保護者へ情報提供を行うため、有機米のほ場の様子等巡回に立ち会い画像等の情報を提供しました。 提供回数 随時	A	目標を達成	興味関心のある画像等の情報を提供できるよう、学校関係者と連携して取り組む。	各調理施設が給食だより等により保護者へ情報提供を行うため、農林水産課と連携し生産者等の画像等情報を提供します。 提供回数 現状：随時 目標：随時
			学校給食センター 学校給食課	食に関する旬な情報を提供	47	拡大	旬な話題を給食だより臨時号等で発信します。 情報発信回数 現状：年1回以上 目標：年2回以上	市制施行80周年記念給食は、近隣市でとれた食材を使用したレシピを給食だより等で発信しました。(テーマに沿った情報) 情報発信回数 2回以上実施	A	目標を達成	市の取り組む情報を学校と共有するとともに学校給食と関連付けた情報を発信する。	旬な話題を給食だより臨時号等で発信します。 情報発信回数 現状：年2回以上 目標：年2回以上
	④地域における食育の推進	①栄養バランスに優れた日本型食生活の実践の推進	健康推進課	各種栄養指導の場における日本型食生活の実践の推進	5	継続	1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査における栄養指導を実施します。 実施率 現状 (R元) : 1.6歳児健診99.7% 3歳児健診99.5% 目標 : 1.6歳児健診100% 3歳児健診100% 【再掲】	1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査の来場者を対象に、問診票をもとに食生活の確認とアドバイスを中心とした個別栄養指導を実施しました。 1.6歳児健診99.4% 3歳児健診99.1%	B	いずれも目標の99%以上を達成。 対象者の自己都合により栄養指導を実施できない場合があります。	兄弟姉妹の送迎の都合で健診会場での実施が難しい場合は電話での対応をする等、引き続き全数実施に努めます。	1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査時に来所者全員に、問診票をもとに個別栄養指導を実施します。 実施率 現状：1.6歳児健診99.4% 3歳児健診99.1% 目標：1.6歳児健診100% 3歳児健診100%
			農林水産課 健康推進課	市広報誌やSNS等を活用した食育に関する情報の提供	48	新規	食育コンサルジュ(食生活改善サポーター)の活動を通して、市広報誌、SNS、公民館での掲示等により情報発信をしていきます。 情報発信回数 目標：年1回以上	食生活改善サポーターの活動を通して、掲示により情報発信をしました。 公民館での掲示4回 商業施設での掲示2回	A	目標回数を達成	掲示のみでなく、SNSを活用した情報発信にも取り組みます。	食育コンサルジュ(食生活改善サポーター)の活動を通して、市広報誌、SNS、公民館での掲示等により情報発信をしていきます。 情報発信回数 目標：年6回以上(健康推進課として)
			健康推進課	からだづくりや生活習慣病の発症・重症化予防のため、望ましい食生活についての理解・実践の推進	19	継続	単純肥満及び腹囲基準値外の者を対象に、若年期健康診査事後の保健指導を実施します。 実施率 現状：93.3% 目標：95%以上	単純肥満、腹囲基準値外の者を対象に、若年期健康診査事後の保健指導を実施します。 実施率 92.6%	B	目標の95%を達成	対象者により実施可能な方法を選択し、実施率向上に努めます。	単純肥満および腹囲基準値外の者を対象に、若年期健康診査事後の保健指導を実施します。 実施率 現状：92.6% 目標：95%以上

木更津市食育推進計画における位置づけ			担当課	目標	番号	区分	令和4年度取組内容	取組の実施状況 (R4)	一次評価	一次評価の理由 取組上の課題・問題点・改善等	令和4年度実施結果に 基づく改善内容	令和5年度取組内容		
基本方針	取り組みの方向	具体的な取り組み 内容(指針)												
2 家庭・学校・地域等それぞれの役割に応じた食育の推進	(4)地域における食育の推進	④専門的知識を有する人材の養成・活用	農林水産課 健康推進課	食育コンシェルジュ(食生活改善サポーター)の育成・活用	49	新規	活動主体である食育コンシェルジュ(食生活改善サポーター)を養成するため、養成教室を開催します。 食生活改善サポーターの資質向上のための研修会を開催します。 養成者数 目標:40名 研修会実施回数 目標:1回以上	食生活改善サポーターを養成するため、養成教室、また、食生活改善サポーターの資質向上のための研修会を開催しました。 養成者数:29名(うち新規養成は12名) 研修会実施回数:7回	B	養成者数については目標の72%、研修会実施回数については目標達成	次回養成教室開催に向けた実施方法等の検討と、引き続き資質向上に向けて研修会を開催します。	食生活改善サポーターを委嘱し、食育推進活動と資質向上のための研修会を実施します。 委嘱予定:29名、 研修会:6回(年間計画に基づく)		
		⑤食育的な売り場づくりの検討	農林水産課	小売店への啓発	50	新規	小売店に対し、新設する「地産地消推進協力店認証制度」の周知と合わせ、理解と協力を依頼します。 啓発店数 目標:10店	小売店に対し、新設する「地産地消推進店認定制度」の周知と合わせ、理解と協力を依頼しました。 啓発店数 21店	A	目標店舗数を達成	「地産地消推進店認定制度」の周知と合わせ、理解と協力を依頼する。 啓発店数(累計) 現状:21店 目標:31店	小売店に対し、引き続き「地産地消推進店認定制度」の周知と合わせ、理解と協力を依頼します。 啓発店数(累計) 現状:21店 目標:31店		
		⑥災害等の非常時に備えた食に関する普及啓発	危機管理課	災害等の非常時に備えることの大切さの普及啓発	51	継続	講演等の市民が集まる際に、災害等の非常時に備えることの大切さを普及啓発します 啓発回数 現状:市防災訓練1回 防災フェスタ1回 目標:市防災訓練1回 防災フェスタ1回	災害等の非常時に備えることの大切さを普及啓発に備えることの実施を行いました。 啓発回数 市防災訓練1回 防災フェスタ1回	A	目標啓発回数を達成	防災意識の高い住民のみならず、一般市民へも非常食の配布等を通じ、備蓄への普及啓発を行う。	講演等の市民が集まる際に、災害等の非常時に備えることの大切さを普及啓発します。 啓発回数 現状:市防災訓練1回 防災フェスタ1回 目標:市防災訓練2回 防災フェスタ1回		
		⑦貧困等の状況にある子どもに対する食育の推進	生活支援課 (旧社会福祉課)	経済的に困難な家庭に対する食の支援	52	継続	フードバンク等と連携し、経済的に困難な家庭に対し食に関する支援を行います。 現状:随時 目標:随時	フードバンク等と連携し、経済的に困難な家庭に対し食に関する支援を必要に応じて随時行いました。	A	必要に応じて食に関する支援を実施することができたため。	特になし。支援を引き続き実施致します。	引き続きフードバンク等と連携し、経済的に困難な家庭に対し食に関する支援を必要に応じて随時行います。		
		⑧高齢者等への買物支援	福祉相談課 (旧自立支援課)	フードバンクや子ども食堂等の利用や運営等に関する情報の提供	53	継続	個別の事情に応じて食に関する情報提供などを行います。 情報提供数 現状:5件 目標:5件	生活困窮者に対する相談業務において、フードバンク等に関する情報を提供した。 提供数:4件	B	目標件数の80%達成	子ども食堂の情報の提供にも努めます。	引き続き、フードバンク活用の情報提供を行うほか、子ども食堂の情報提供にも努めます。 情報提供数 現状:4件 目標:5件		
		⑧高齢者等への買物支援	高齢者福祉課	自ら新鮮食料品等を選ぶことができる買い物を通じて食に対する意欲の増進を図るため、移動スーパーの運行・維持への支援の継続	54	継続	官民協働で移動スーパーを運行します。継続して運行ができるよう、実施地域での周知活動等を行うとともに高齢者の買い物ニーズに合わせた運行ルートの見直しを行います。 月延べ利用者数 現状:1,000人程度 目標:1,000人程度	取り組み内容どおり、滞りなく実施した。 ・ルートの見直し:4か所 ・ヤックス移動スーパーの運行開始(R5.2~新規) ・月間利用者数:約1,400人(2社分合計)	A	目標人数を達成	引き続き、移動スーパーの運行及び維持について、支援をします。 高齢者の買い物ニーズを把握し、必要な地域で移動スーパーの運行が実施できるよう、協力します。	民間事業者の移動スーパーが運行・維持できるよう支援します。継続して運行ができるよう、実施地域での周知活動等を行うとともに、必要に応じて、高齢者の買い物ニーズに合わせた運行ルートの見直しに協力します。 月延べ利用者数 現状:1,400人程度 目標:1,400人程度		
		3 食の安全・安心の確保	安全・安心な食の情報提供	①生産記録の記帳の推進	農林水産課	生産記録の記帳推進	55	新規	農協等と連携のうえ、生産団体の会議等を活用し生産記録(防除日誌)の記帳に向けた生産者への啓発を実施します。 また、改正種苗法の内容について、生産者等への啓発を図ります。 啓発回数 現状:年0回 目標:年2回	農協と連携し、生産団体の会議等を活用し生産記録(防除日誌)の記帳に向けた生産者への啓発を実施しました。 併せて、改正種苗法の内容についての啓発を実施しました。 啓発回数 7回	A	目標回数達成	農協等と連携し、生産記録(防除日誌)の記帳に向けた生産者への啓発に取り組みます。	農協等と連携のうえ、生産団体の会議等を活用し生産記録(防除日誌)の記帳に向けた生産者への啓発を実施します。 また、改正種苗法の内容について、生産者等への啓発を図ります。 啓発回数 現状:年7回 目標:年7回
				②生涯学習を活用した食の安全・安心の啓発	生涯学習課 公民館	市民が安全・安心な食品を選択することができるよう啓発	56	拡大	青少年対象「クッキング教室」、成人対象「料理教室」、家庭教育学級の「味噌づくり教室」、発酵食を考える講座等、各公民館で手作りの大切さを学ぶ講座を開催し、啓発に努めます。 講座開催数 現状:10回(参加者数42人) 目標:15回(参加者約70人)	青少年対象「クッキング教室」、成人対象「料理教室」、家庭教育学級の「味噌づくり教室」、発酵食を考える講座等、各公民館で講座を開催した。 講座開催数 27回(参加者数423人)	A	複数の公民館の連携による取り組みで講座回数・参加者数が増加した。	新型コロナウイルスが5類になったことにより、取り組みの拡大が期待できる。	青少年対象「クッキング教室」、成人対象「料理教室」、家庭教育学級の「味噌づくり教室」、発酵食を考える講座等、各公民館で手作りの大切さを学ぶ講座を開催し、さらに啓発に努めます。 講座開催数 現状:27回(参加者数423人) 目標:30回(参加者約450人)

木更津市食育推進計画における位置づけ			担当課	目標	番号	区分	令和4年度取組内容	取組の実施状況 (R4)	一次評価	一次評価の理由 取組上の課題・問題点・改善等	令和4年度実施結果に 基づく改善内容	令和5年度取組内容
基本方針	取り組みの方向	具体的な取り組み内容(指針)										
4 持続可能な食を支える食育の推進	(1)地産地消の推進	①地域農林水産業の振興	農林水産課	地元産農水産物の普及のため、関係団体、農水産業者と連携し、生産拡大と品質の向上	57	拡大	生産力強化のために認定農業者等が導入する機械施設等に対し、経費の一部を補助し、園芸産地の育成を図ります。 補助経営体数(累計) 現状：2経営体(法人2) 目標：5経営体(法人1、個人4)	生産力向上及び経営拡大のため、ロータリー、エンジン収穫機、梨棚等機械施設等の導入に係る経費の補助を実施しました。 補助経営体数：3経営体(法人1、個人2)	A	目標達成	補助事業を活用する農業者が増加するよう、担い手への継続的な支援と共に、補助事業の周知を図ります。	生産力強化のために認定農業者等が導入する機械施設等に対し、経費の一部を補助し、園芸産地の育成を図ります。 補助経営体数(累計) 現状：5経営体(法人3、個人2) 目標：10経営体
					58	拡大	露地野菜等の生産力強化のため、農業者が耕作放棄地を再生し、生産出荷に必要な機械等に対し、経費の一部を補助し、耕作放棄地の再生を図ります。 補助経営体数(累計) 現状：2経営体(個人2) 目標：3経営体(個人3)	耕作放棄地の再生及び生産力向上のため、肥料散布機、予冷庫、乾燥機等機械施設の導入に係る経費の補助を実施しました。 補助経営体数：1経営体(個人)	A	目標達成	補助事業を活用する農業者が増加するよう、担い手への継続的な支援と共に、補助事業の周知を図ります。	露地野菜等の生産力強化のため、農業者が耕作放棄地を再生し、生産出荷に必要な機械等に対し、経費の一部を補助し、耕作放棄地の再生を図ります。 補助経営体数(累計) 現状：3経営体(個人3) 目標：5経営体(個人5)
					59	拡大	耕作放棄地を再生し、生産規模拡大をめざす農業者等に対し、再生作業に要する経費を支援することで、耕作放棄地の再生に取り組む生産者の確保を図ります。 補助経営体数(累計) 現状：2経営体(個人2) 目標：4経営体(個人4)	生産規模拡大のため、耕作放棄地生成に係る経費の補助を実施しました。 補助経営体数：1経営体(個人) 対象面積：31アール	B	事業活用者数が目標未達成	補助事業を活用する農業者が増加するよう、担い手への継続的な支援と共に、補助事業の周知を図ります。	耕作放棄地を再生し、生産規模拡大をめざす農業者等に対し、再生作業に要する経費を支援することで、耕作放棄地の再生に取り組む生産者の確保を図ります。 補助経営体数(累計) 現状：3経営体(個人3) 目標：6経営体
					60	拡大	垂下式のカキカゴ養殖について、市内漁協に対し事業規模拡大を支援します。 現状：カキの基礎試験、技術改良、生産・販売試験・事業化の検討 目標：漁業権取得に向けた最後の試験販売年度となるため、安定した生産体制と需要体制の最終調整を行います。	事業拡大のため、垂下式のカキ養殖に必要なカキ養殖施設(カキ籠等)に係る経費の一部を補助しました。 カキ籠 256個(経費の一部を補助)	A	漁業権取得に向けた最後の試験販売年度となるため、安定した生産体制と需要体制の最終調整を行いました。	引続き、漁協が取組んでいる垂下式カキ籠養殖の事業拡大へ向け、カキ養殖に必要な資材等の経費の一部を支援していきます。	垂下式のカキカゴ養殖について、市内漁協に対し事業規模拡大を支援します。 目標：令和5年度 カキ養殖の漁業権取得に向け支援を行います。
					61	拡大	ノリ生産枚数減少の一因となっている魚類等の食害被害防止のため、市内2漁協が実施する事業を支援します。 1戸あたりの年間ノリ生産量 現状：16万枚 目標：25万枚	魚類等から海苔の食害被害を防止するため、食害防除ネット購入に係る経費の一部を補助しました。 食害防除ネット 550m(経費の一部を補助) 1戸あたりの年間ノリ生産量：33万枚	A	1戸当たりの年間ノリ生産量の目標枚数を達成	引続き、漁協が取組んでいるノリ生産枚数減少の一因となっている魚類等の食害防止について支援を行ってきます。	ノリ生産枚数減少の一因となっている魚類等の食害被害防止のため、市内2漁協が実施する事業を支援します。 1戸あたりの年間ノリ生産量 現状：33万枚 目標：36万枚
					62	拡大	市内2漁協が行う、本市の水産業(アサリ)を振興していくための事業を支援します。 アサリの年間水揚げ量 現状：70t 目標：100t	アサリの稚貝を波浪による減耗及び害敵生物などの食害被害から守るため設置する囲い網に係る経費の一部を補助しました。 囲い網：約1km(牛込：25m×20反)(経費の一部を補助) アサリの年間水揚げ量：56t	C	アサリの年間水揚げ量の目標が未達成	引続き、漁協が取組んでいるアサリの稚貝を波浪から減耗及び害敵生物などの食害被害から守るため設置する加工網について支援を行ってきます。	市内2漁協が行う、本市の水産業(アサリ)を振興していくための事業を支援します。 アサリの年間水揚げ量 現状：56t 目標：100t

木更津市食育推進計画における位置づけ			担当課	目標	番号	区分	令和4年度取組内容	取組の実施状況 (R4)	一次評価	一次評価の理由 取組上の課題・問題点・改善等	令和4年度実施結果に基づく改善内容	令和5年度取組内容
基本方針	取り組みの方向	具体的な取り組み内容(指針)										
4 持続可能な食を支える食育の推進	(1)地産地消の推進	②給食を活用した地産地消の推進	子ども保育課	地産地消の食材を取り入れた献立の充実	63	拡大	市立各保育園は、引き続き、毎月19日の食育の日を中心に、地元産食材を取り入れた給食を提供し、園児に紹介するとともに保護者へ掲示等で知らせていきます。 地元産食材を取り入れた給食の提供回数 現状：年12回 目標：年14回	毎月食育の日を中心に、地元産食材を取り入れた給食を提供し、園児に紹介するとともに保護者へ掲示等を行いました。 地元産食材を取り入れ、給食とともに紹介した回数 提供回数：年14回	A	目標提供回数を達成	地元産食材を継続して取り入れている中で、地元産の食材について知らせる機会の充実を図ります。	市立各保育園は、引き続き、毎月19日の食育の日を中心に、地元産食材を取り入れた給食を提供し、園児に紹介するとともに保護者へ掲示等で知らせていきます。 地元産食材を取り入れ、給食とともに紹介した回数 現状：年14回 目標：年16回
			学校給食課	学校給食提供食材の地場産物の利用促進	64	拡大	毎年1月の全国学校給食週間に合わせ実施している近在野菜を使用する取り組みで、使用品目を増やせるよう関係者に理解と協力を依頼します。 使用品目数 現状：3品目(キャベツ・大根・人参) 目標：4品目(キャベツ・大根・人参・白菜)	毎年1月の全国学校給食週間に合わせ実施している近在野菜を使用する取り組みで、使用品目を増やせるよう関係者に学校の取り組み等共有しました。 使用品目数 現状：4品目(キャベツ・大根・人参・白菜)	A	目標使用品目数を達成	協力関係者と協議しながら使用品目の拡大に取り組みます。	毎年1月の全国学校給食週間に合わせ実施している近在野菜を使用する取り組みで、使用品目を増やせるよう関係者に理解と協力を依頼します。 使用品目数 現状：4品目(キャベツ・大根・人参・白菜) 目標：5品目(キャベツ・大根・人参・白菜・長ねぎ)
			学校給食センター 学校給食課	地産地消の食材を取り入れた献立の充実	14	継続	地元で生産された食材の優先使用に努め、11月の千産千消デーの取り組みを給食だよりや掲示物等を活用し情報発信します。 地元生産食材使用率 現状：81.3% 目標：85%以上【再掲】	地元で生産された食材を学校給食で提供し、11月の千産千消デーの取り組みを給食時間での校内放送や給食だより、掲示物、ホームページ等で情報発信しました。 地元生産食材使用率 71.1%	B	天候等により予定した食材の産地の納品がなかった。旬の季節に合わせた地産食材の活用も必要です。	協力関係者と連携を図りながら、安全安心な地産食材を活用した献立作成を行います。	地元で生産された食材の優先使用に努め、11月の千産千消デーの取り組みを給食だよりや掲示物等を活用し情報発信します。 地元生産食材使用率 現状：71.1% 目標：85%以上
			学校給食センター 学校給食課	地元生産物の情報発信による啓発	65	継続	学校栄養士等が生産者を取材し、給食だより等で情報を発信します。 取材した生産者数(累計) 現状：3経営体 目標：4経営体	学校栄養士等が生産者や生産者の畑を取材し、給食だより等で情報を発信しました。(顔の見える地産地消給食の実施) 取材した生産者数(累計) 4経営体	A	目標取材経営体数を達成	市の取り組む情報を学校と共有するとともに学校給食と関連付けた情報を発信します。	学校栄養士等が生産者を取材し、給食だより等で情報を発信します。 取材した生産者数(累計) 現状：4経営体 目標：5経営体
			学校給食課	給食施設の整備	66	新規	安全安心な学校給食の提供のため、地域の農林水産物食材(農業関係機関と連携)を優先的に取り入れた手作り給食を基本とする給食施設の整備を検討します。(対象：10施設)	現給食施設の課題を基に市の計画に沿う新給食施設の整備に向け、建設候補地等の検討を行いました。	B	事業に向けた建設候補地が難航	事業手法及び建設候補地の検討を行い構想を作成します。	安全安心な学校給食の提供のため、地域の農林水産物食材(農業関係機関と連携)を優先的に取り入れた手作り給食を基本とする給食施設の構想を作成します。(対象：10施設)
			農林水産課	学校給食に向けた有機米栽培の拡大	67	拡大	有機米の生産促進・拡大に向け、農業者の取り組みを支援します。 有機米生産面積 現状：15.4ha 目標：20ha	有機米の生産促進・拡大に向け、外部講師による講習会の開催やほ場巡回等を実施し、農業者の取り組みを支援しました。 有機米生産面積 実績：20ha	A	引き続き本取組をPRし、協力生産者を増やす必要があります。	有機農業への理解増進を図り、協力生産者の増加を目指します。	市内農業者を対象に、先進的に有機米稲栽培を行っている方を講師に迎え、講習会を開催し有機農業への理解増進を行います。 有機米生産面積 現状：20ha 目標：25ha
			農林水産課	学校給食提供食材の地場産物の利用促進	68	新規	学校給食に提供する野菜等の食材を生産・配送する農業者を補助します。 協力農業者数 目標：10人	学校給食の地産地消を推進するため、市内産野菜等の食材を生産・配送する農業者に対し補助を実施しました。 協力農業者数 実績：3人	C	引き続き本取組をPRし、協力生産者を増やす必要があります。	学校給食の地産地消促進への理解を図り、協力生産者の増加を目指します。	生産者団体等と連携し補助制度の周知を図り、協力者の増加に取り組みます。 協力農業者 現状：3人 目標：10人

木更津市食育推進計画における位置づけ			担当課	目標	番号	区分	令和4年度取組内容	取組の実施状況 (R4)	一次評価	一次評価の理由 取組上の課題・問題点・改善等	令和4年度実施結果に 基づく改善内容	令和5年度取組内容
基本方針	取り組みの方向	具体的な取組 内容(指針)										
4 持続可能な食を支える食育の推進	(1)地産地消の推進	③地産地消の普及啓発	農林水産課	地元農林水産物を購入しやすい店舗の増加と周知	69	新規	地元農林水産物を取扱う店(小売店)を「地産地消推進協力店」として認証する制度を創設し、取扱小売店、飲食店を増やすとともに広く市民に周知を図ります。 協力店数 目標：5店	認定制度を創設し、地元農林水産物を取扱う店(小売店・飲食店)を「地産地消推進店」として認定。目印となるのぼり旗・ステッカーを貸与し、市HP等で市民に周知を図った。 推進店数 16店	A	目標推進店数を達成	認定制度の周知を図り、認定店の増加に取り組めます。	市HPや商工会議所等と連携し認定制度の周知を図り、認定店の増加に取り組めます。 推進店数 現状：16店 目標：21店
			農林水産課	地産地消の啓発	70	新規	関係課と連携し、毎月19日の食育の日に合わせて、レシピを付けた旬な地元農林水産物を、市広報誌・HP等で啓発を実施します。 啓発頻度 目標：毎月1回(6月から)	6月の国の食育月間に合わせ、関係課と連携し、レシピを付けた旬な地元農林水産物を、市広報誌・HP等で啓発を実施しました。 啓発頻度 6月から毎月1回実施	A	目標啓発頻度を達成	関係課と連携を図り、啓発に取り組めます。	関係課と連携し、レシピを付けた旬な地元農林水産物を、市広報誌・HP等で啓発を実施します。 啓発頻度 現状：毎月1回 目標：毎月1回
			環境政策課	地元生産品の地域内消費の促進	15	拡大	様々な世代の地球温暖化対策への意識向上を図るため、小学5年生全員に環境教育の副読本「エコノート」を配布し、夏休み等の長期休暇の課題として各家庭で取り組んでもらい、地球温暖化対策の一つである地産地消の推進を図ります。 取組率 現状：75% 目標：78% ※エコノートをきっかけとした環境への取組をアンケート調査で確認 【再掲】	令和4年7月4日に小学5年生を対象に1,372冊のエコノートの配布しました。 夏休み後の令和4年8月10日以降にアンケートを実施しました。 取組率 70% 【再掲】	B	目標の80%以上を達成 【再掲】	より多くの方に啓発できるように掲示内容の充実に取り組むとともに、対面での啓発を検討します。	様々な世代の地球温暖化対策への意識向上を図るため、小学5年生全員に環境教育の副読本「エコノート」を配布し、夏休み等の長期休暇の課題として各家庭で取り組んでもらい、地球温暖化対策の一つである地産地消の推進を図ります。 取組率 現状：70% 目標：78% ※エコノートをきっかけとした環境への取組をアンケート調査で確認 【再掲】
			農林水産課	生産者と消費者の交流を促進	72	拡大	既存イベントへの生産者参加促進と庁内各課にイベント告知チラシに食育のキャッチフレーズを入れる等依頼し啓発を実施します。 実施イベント数 現状：イベント1回 目標：イベント2回	既存イベントへの生産者参加促進は実施できなかったものの、新型コロナウイルス感染症により庁内でのイベントの多くが未実施であったため、啓発は実施できませんでした。 実施イベント数 1回	C	目標とするイベント数 が未達成	イベントが再開される見込みであることから、啓発の実施に取り組めます。	既存イベントへの生産者参加促進と庁内各課にイベント告知チラシに食育のキャッチフレーズを入れる等依頼し啓発を実施します。 実施イベント数 現状：イベント1回 目標：イベント2回
	(2)生産者と消費者の交流促進	②生産者と保育園、学校等との交流の推進	こども保育課	生産者の畑での収穫体験の実施	73	新規	市立保育園(2園)は、保育計画の中に新たに生産者との交流の機会を設けるために、協力生産者の確保及び実施方法等について検討します。	保育園の園庭で米や野菜の栽培を行うとともに、生産者と交流する機会を設ける計画を作成しました。 交流は5年度から実施。	A	目標を達成	市内生産者との連携を図るため、バスの利用等の予約し、実施いたします。	市立保育園(2園)は、保育計画の中に新たに生産者との交流の機会を掲げ、協力生産者との連携を図り、栽培している野菜について興味関心をもつ機会を持ち、生産者との交流を図ります。
			学校給食課 農林水産課	生産者等と学校の交流促進	74	継続	生産者の顔が見える学校給食実現のため、有機米を初めとする給食食材提供の生産者等と学校の給食試食会を実施します。 実施校 現状：小学校1校 目標：小学校1校	生産者の顔が見える学校給食実現のため、有機米、木更津産豚肉の給食食材提供の生産者等と学校の給食試食会を実施しました。 実施校 小学校1校	A	目標実施校を達成	給食試食会を通して交流の機会となるよう取り組めます。	生産者の顔が見える学校給食実現のため、有機米を初めとする給食食材提供の生産者等と学校の給食試食会を実施します。 実施校 現状：小学校1校 目標：小学校1校
			学校給食センター 学校給食課	生産者と学校の交流のサポート	75	継続	各調理施設において給食で使用した食材や生産者等の情報を教職員に提供し、食育での活用に努めます。 情報提供回数 現状：随時 目標：随時	各調理施設において給食で使用した食材や生産者等の情報を打合せや校内放送資料等で教職員と共有し、食育での活用に努めました。 情報提供回数 随時	A	目標回数を達成	食育に活用できる資料を提供します。	各調理施設において給食で使用した食材や生産者等の情報を教職員に提供し、食育での活用に努めます。 情報提供回数 現状：随時 目標：随時
			農林水産課	生産者等と学校の交流促進	74	継続	生産者の顔が見える学校給食実現のため、有機米を初めとする給食食材提供の生産者等と学校の給食試食会を実施します。 実施校 現状：小学校1校 目標：小学校1校	生産者の顔が見える学校給食実現のため、有機米、木更津産豚肉の給食食材提供の生産者等と学校の給食試食会を実施しました。 実施校 小学校1校	A	目標実施校を達成	給食試食会を通して交流の機会となるよう取り組めます。	生産者の顔が見える学校給食実現のため、有機米を初めとする給食食材提供の生産者等と学校の給食試食会を実施します。 実施校 現状：小学校1校 目標：小学校1校

木更津市食育推進計画における位置づけ			担当課	目標	番号	区分	令和4年度取組内容	取組の実施状況 (R4)	一次評価	一次評価の理由 取組上の課題・問題点・改善等	令和4年度実施結果に基づく改善内容	令和5年度取組内容
基本方針	取り組みの方向	具体的な取り組み内容（指針）										
4 持続可能な食を支える食育の推進	(2)生産者と消費者の交流促進	③農水産業体験のPR・利用の促進	農林水産課	農水産業体験のPR・利用の促進	76	新規	観光振興課・観光協会と連携し、観光ガイドブック等で施設・利用促進のPRを実施するとともに、体験農業実施に向け農業者の意向調査等により課題を整理します。	観光振興課・観光協会と連携し、観光ガイドブック等で施設・利用促進のPRを実施しました。体験農業実施に向けた農業者の意向調査は利用者減の状況から実施を見送りました。	C	予定していた農業者の意向調査が未実施	新型コロナウイルス感染症の影響が少なくなり、利用増が見込めることから、PR等に取り組みます。	観光振興課・観光協会と連携し、観光ガイドブック等で施設・利用促進のPRを実施するとともに、体験農業実施に向け農業者の意向調査等により課題を整理します。
			農林水産課	都市と農村の交流促進	77	継続	市内外の都市住民を対象に、農山漁村滞在型旅行（農泊）を年1回実施し、都市と農村の交流を促進します。 実施回数 現状：0回 目標：1回	新型コロナウイルス感染症により、実施できませんでした。	C	目標未実施	新型コロナウイルス感染症の影響が少なくなることから、実施に向け取り組みます。	市内外の都市住民を対象に、農山漁村滞在型旅行（農泊）を年1回実施し、都市と農村の交流を促進します。 実施回数 現状：0回 目標：1回
	(3)環境に配慮した食生活の推進	①有機農業・環境保全型農業の推進	農林水産課	有機農業・環境保全型農業生産者の増加	78	拡大	無農薬・無化学肥料による有機米栽培の生産者を増やすため、千葉県・JA等と連携し生産者への啓発実施と有機農業に意欲ある農業者への支援を実施します。 有機米生産農家数 現状：13経営体 目標：15経営体	有機米の生産促進・拡大に向け、外部講師による講習会を開催し、有機米稲栽培への理解増進に努めました。 有機米生産農家数 実績：14経営体	B	断続的に有機米生産農家数を増加させるためには、生産者の有機農業への理解を深めていく必要があります。	有機農業への理解増進を図り、協力生産者の増加を目指します。	市内農業者を対象に、先進的に有機米稲栽培を行っている方を講師に迎え、講習会を開催し有機米生産農家数 現状：14経営体 目標：20経営体
			農林水産課	有機農業・環境保全型農業生産者の増加	79	拡大	地球温暖化防止や生物多様性の保全等に効果の高い営農活動に取り組んでいる農業者に対し支援を行います。 取り組み農家数（累計） 現状：4経営体 目標：9経営体	地球温暖化防止や生物多様性の保全等に効果の高い営農活動に取り組んでいる農業者に対し支援しました。 取り組み農家数（累計） 実績：8経営体	B	令和4年度は新たに4経営体が増加した。引き続き環境保全型農業を普及させるための支援を行ってきます。	県等と情報を共有し、情報発信等に努め、環境保全型農業の推進に努めます。	県等と情報を共有し、情報発信等に努め、環境保全型農業の推進に努めます。 取り組み農家数（累計） 現状：8経営体 目標：10経営体
		①有機農業・環境保全型農業の推進	農林水産課	有機農業・環境保全型農業生産者の増加	80	拡大	本市農産物やそれらを用いた加工品等の付加価値向上・ブランド化を目指し、有機JAS認証取得を目指す農業者に対し支援を行います。 有機JAS認証取得経営体数（累計） 現状：15経営体 目標：17経営体	新規に1件の有機JAS認証を取得した生産者の支援を行いました。 また有機JAS取得に興味がある8名の生産者に対して、指定講習会の参加費用を支援しました。 有機JAS認証取得経営体数（累計） 実績：16経営体	B	有機米JAS取得者を増加させるためには、生産者の有機農業への理解を深めていく必要があります。	有機農業への理解増進を図り、協力生産者の増加を目指します。	市内農業者を対象に、先進的に有機米稲栽培・有機野菜先進的に行っている方を講師に迎え、講習会を開催し有機農業への理解増進を行います。 有機JAS認証取得経営体数（累計） 現状：16経営体 目標：18経営体

木更津市食育推進計画における位置づけ			担当課	目標	番号	区分	令和4年度取組内容	取組の実施状況 (R4)	一次評価	一次評価の理由 取組上の課題・問題 点・改善等	令和4年度実施結果に 基づく改善内容	令和5年度取組内容
基本方針	取り組みの方向	具体的な取組 内容(指針)										
4 持続可能な食を支える食育の推進	③環境に配慮した食生活の推進	②食品ロス等の削減に向けた取組みと啓発	資源循環推進課 (旧まち美化推進課)	市民全員が食品ロス問題を深刻に捉え、3Rに取り組む社会へ	81	継続	食品ロスを含めた3Rの広報啓発を広報ささらづ、SNS等で随時啓発を行います。 啓発回数 現状：随時 目標：随時	例年同様に広報ささらづ等に内容を掲載しました。	B	継続して広報活動ができたため。	継続して啓発を行います。	食品ロスを含めた3Rの広報啓発を広報ささらづ、SNS等で随時啓発を行います。 啓発回数 現状：随時 目標：随時
					82	拡大	学校や自治会にむけた出前講座・学習会を随時行います。 実施回数 現状：年3回 目標：年4回	公民館で出前講座を2回行いました。	C	目標回数には届かなかったため。	継続して啓発を行います。	学校や自治会にむけた出前講座・学習会を随時行います。 実施回数 現状：年2回 目標：年4回
					83	拡大	商工会議所会報「商工ささらづ」で企業に向けた食品ロス削減の啓発を行います。 啓発回数 現状：年2回 目標：年2回	「商工ささらづ」に食品ロス関連の内容を1回掲載しました。また、広報ささらづ特集号にも掲載し、啓発を行いました。	B	「商工ささらづ」は1回の掲載だったが、臨時版の広報ささらづ特集号に掲載したため。	継続して啓発を行います。	商工会議所会報「商工ささらづ」で企業に向けた食品ロス削減の啓発を行います。 啓発回数 現状：年2回 目標：年2回
					84	継続	市内保育園等の給食残渣を堆肥化し、市民に無料配布を行います。 年間配布総量 現状：約2,400kg 目標：約2,400kg	市内保育園等の給食残渣を堆肥化し、市民に無料配布を行いました。 年間配布総量：993kg。	C	機械の故障もあり、目標値を大きく下回ったため。	機械の状態を確認しながら、継続的に配布をします。	市内保育園等の給食残渣を堆肥化し、市民に無料配布を行います。 年間配布総量 現状：約1,000kg 目標：約2,400kg
					85	拡大	生ごみ肥料化容器等の購入に助成金を交付し、家庭生ごみの肥料化を進めます。 制度の申請手引きを作成します。 申請基数 現状：80基 目標：80基	生ごみ肥料化容器等の購入に助成金を交付し、家庭生ごみの肥料化に取り組みました。 生ごみ肥料化容器の申請基数：49基	C	広報やホームページ等にて周知を行ったが、目標値を下回ったため。	生ごみ肥料化容器の有用性及び助成金制度の周知をより強化していきます。	生ごみ肥料化容器等の購入に助成金を交付し、家庭生ごみの肥料化を進めます。 制度の申請手引きを作成します。 申請基数 現状：49基 目標：80基
					86	拡大	食品ロス等の削減に向けたフードドライブについて、広報啓発を強化し、年間寄付者の増加を図ります。 年間寄付者数 現状：6人 目標：20人	食品ロス等の削減に向けたフードドライブについて、広報啓発を強化し、年間寄付者の増加を図りました。 フードドライブの年間寄付者：16人	B	イベントでの寄付もあり、目標値の80%を達成できたため。	目標値に向けて広報活動等を強化していきます。	食品ロス等の削減に向けたフードドライブについて、広報啓発を強化し、年間寄付者の増加を図ります。 年間寄付者数 現状：16人 目標：25人
	④有効利用による持続可能な生産と消費	環境政策課	③環境に配慮した食育の推進	フードマイレージや食品ロスは地球温暖化問題の一因であるとともに、経済的な問題でもあるため、それらの削減を図る	15	拡大	様々な世代の地球温暖化対策への意識向上を図るため、小学5年生全員に環境教育の副読本「エコノート」を配布し、夏休み等の長期休暇の課題として各家庭で取り組んでもらい、地球温暖化対策の一つである地産地消の推進を図ります。 取組率 現状：75% 目標：78% ※エコノートをきっかけとした環境への取組をアンケート調査で確認 【再掲】	令和4年7月4日に小学5年生を対象に1,372冊のエコノートの配布しました。 夏休み後の令和4年8月10日以降にアンケートを実施しました。 取組率 70% 【再掲】	B	目標の80%以上を達成 【再掲】	より、エコノートを基に取り組んでもらうために、アンケート結果を基に、働きかけを強化していく。 【再掲】	様々な世代の地球温暖化対策への意識向上を図るため、小学5年生全員に環境教育の副読本「エコノート」を配布し、夏休み等の長期休暇の課題として各家庭で取り組んでもらい、地球温暖化対策の一つである地産地消の推進を図ります。 取組率 現状：70% 目標：78% ※エコノートをきっかけとした環境への取組をアンケート調査で確認 【再掲】
					農林水産課	規格外農林水産物の地産地消推進協力店等での扱い量の増加	87	新規	廃棄されてしまう規格外地元産農水産物を有効利用するため、地産地消推進協力店と生産者を繋ぎ、取扱量増加を目指します。 実施店数 目標：1店舗	農業者アンケート・小売店へのヒアリングにより、小売店・生産者の条件次第で取引可能である意向を確認するも取引の実現はできませんでした。	B	実施に向けた意向を確認できたが、実施店は未達成

木更津市食育推進計画における位置づけ			担当課	目標	番号	区分	令和4年度取組内容	取組の実施状況 (R4)	一次評価	一次評価の理由 取組上の課題・問題点・改善等	令和4年度実施結果に 基づく改善内容	令和5年度取組内容
基本方針	取り組みの方向	具体的な取組 内容(指針)										
4 持続可能な食を支える食育の推進	(4)食文化の継承活動の推進	①保育園・学校給食献立の活用	こども保育課	年間を通じた伝統食や行事食の実施	88	拡大	市立各保育園は地元へ伝わる伝統食や四季折々の行事食を給食に取り入れます。 提供回数 現状：年15回 目標：年19回	食育計画に基づき、行事食・季節の食事を給食やおやつでの提供をしました。 提供回数 年17回	B	伝統食についての定義がなく、明らかなもののみを回数とした。次年度は定義を明確にします。	年間計画を作成し、通年、行事食や季節を感じる食事の提供を図ります。	市立各保育園は年間計画に位置付け、行事食・季節の食事を給食およびおやつに提供したことを知らせます。 提供回数 実施：年17回 目標：年23回
			学校給食センター 学校給食課		年間計画に位置付け、行事食・季節の食事を計画的に提供します。提供した際は、料理の紹介をします。 提供回数 現状：年11回 目標：年11回	年間計画に位置付け、行事食・季節の食事を計画的に提供しました。 提供回数 年11回	A	目標提供回数を達成	旬の食材や季節感のある給食を通じた献立を計画します。	年間計画に位置付け、行事食・季節の食事を計画的に提供します。提供した際は、料理の紹介をします。 提供回数 現状：年11回 目標：年11回		
		②地域での取り組み	農林水産課 健康推進課	地域の伝統的な食文化の普及啓発	49	新規	活動主体である食育コンシェルジュ（食生活改善サポーター）を養成するため、養成教室を開催します。 食生活改善サポーターの資質向上のための研修会を開催します。 養成者数 目標：40名 研修会実施回数 目標：1回以上 【再掲】	食生活改善サポーターを養成するため、養成教室、また、食生活改善サポーターの資質向上のための研修会を開催しました。 養成者数：29名（うち新規養成は12名） 研修会実施回数：7回	B	養成者数については目標の72%、研修会実施回数については目標達成	目標人数の達成にははななかつたが、養成者を委嘱し、地域活動を実施します。	地域の伝承料理や特産品の啓発を、市内学校に通う児童・生徒、市民を対象に年5回以上実施します。 現状：5回実施 目標：5回以上実施
			生涯学習課 公民館	地域の伝統的な食文化の継承、普及啓発	90	拡大	幅広い世代を対象に海苔すき体験、アサリやノリなど特産物を使用した料理教室、和食に拘った料理教室、太巻き寿司作り講習会などを開催します。 また、文化祭では太巻き寿司の展示など、積極的な普及啓発に努めます。 実施回数 現状：2回 目標：5回	太巻き寿司作り講習会を開催しました。 開催回数 2回 参加者30人	C	新型コロナの影響により、食品の展示などは行えませんでした。	新型コロナが5類になったことにより、取り組みの拡大が期待できます。	幅広い世代を対象に海苔すき体験、アサリやノリなど特産物を使用した料理教室、和食に拘った料理教室、太巻き寿司作り講習会などを開催します。 また、文化祭では太巻き寿司の展示など、積極的な普及啓発に努めます。 実施回数 現状：2回 目標：5回
		生涯学習課 公民館	広く市民への情報提供	24	拡大	市内全ての公民館で、公民館だより等に郷土料理の特集を組むなど積極的に掲載するとともに、文化祭では伝統食や和食、郷土料理に関する展示コーナーを設け、情報提供に努めます。 情報発信回数 現状：年1回 目標：年1回以上 【再掲】	公民館だよりにて食育に関するレシピの記事を掲載しました。 掲載回数；年6回 実施公民館3館	C	新型コロナの影響が残り、料理に関する特集は積極的には組みませんでした。	新型コロナが5類になったことにより、取り組みの拡大が期待できます。	市内全ての公民館で、公民館だより等に郷土料理の特集を組むなど積極的に掲載するとともに、文化祭では伝統食や和食、郷土料理に関する展示コーナーを設け、情報提供に努めます。 情報発信回数 現状：年1回 目標：年1回以上 【再掲】	
③伝統食や和食・郷土料理に関する情報提供	こども保育課	伝統食・行事食等の展示及情報提供の実施	91	拡大	市立各保育園は、引き続き、伝統食や行事食を提供した際に、保護者へ給食展示やレシピ等の情報提供を実施します。 情報提供回数 現状：年15回 目標：年19回	食育計画に基づき、引き続き、伝統食や行事食を提供した際に、保護者へ給食展示やレシピ等の情報提供を実施しました。 情報提供回数 現状：年13回	B	伝統食の定義を決めていなかったため、確認できた回数のみとしました。 ※献立等から提供されたとと思われる回数（3回、計16回）を加味し、B評価とします。	伝統的な食事と行事食は重なることも多い。展示の際に、情報提供を合わせて行います。	市立各保育園は引き続き、食育計画に基づき、伝統食や行事食を提供した際に、保護者へ給食展示やレシピ等の情報提供を実施します。 情報提供回数 現状：年13回 目標：年23回		

木更津市食育推進協議会委員関係団体の食育推進活動一覧

	分野	団体名	取り組み	備考
1	生産者事業者	木更津市農業協同組合	○	P17
2		高倉農産物直売センター		
3		大一木更津青果(株)	○	P18
4		(株)木更津魚市場	○	P19
5		(株)耕す		
6		(株)ごはんクリエイト		
7		きさらづアグリフーズ推進協議会		
8		イオンスタイル木更津店		
9	医療・保健 関係者	君津木更津医師会		
10		君津木更津歯科医師会		
11		君津保健所管内栄養士協議会	○	P20
12	教育児童 福祉関係者	木更津市保育協議会		
13		木更津市小中学校長会	○	P21
14		小中学校栄養士代表(教育委員会)	○	P22
15		木更津市社会福祉協議会	○	P23
16	学識経験者	千葉県立保健医療大学		
17	市民団体等	木更津市PTA連絡協議会		
18		木更津市食生活改善サポーターの会	○	P24
19		木更津市シニアクラブ連合会	○	P25

木更津市食育推進協議会委員関係団体等の食育取組評価（令和4年度）・取組計画（令和5年度）

団体・事業所名 木更津市農業協同組合
協議会委員名 鈴木 正則

目標	取組内容	区分	令和4年度取組内容	取組の実施状況（R4）	評価	評価の理由 取組上の課題・問題・改善等	令和4年度実施結果に 基づく改善内容	令和5年度取組内容
地産地消の推進	施設見学受入れ （集荷場） （予冷施設）	継続	実施中 現状： 1校 目標： 1校	中郷小の生徒を集荷場・予冷施設の見学により農業への理解を図りました。	A	目標数を達成	今回実施した活動を継続していくことで、より多くの児童に理解が図れます。	小学校（中郷小）を対象に、集荷場・予冷施設の見学を受け入れ、農業への理解を図る。 現状： 1校 目標： 1校
	講師の派遣 （栽培講習会）	継続	実施中 現状： 1回 目標： 1回	新型コロナウイルス感染症の影響により実施しませんでした。	C	未実施のため	新型コロナウイルス感染症対策の変更を受け、今後検討します。	夏野菜苗即売会時に来場者を対象とする夏野菜栽培講習会を開催し、地元農業への理解を図る。 現状： 0回 目標： 1回
	料理教室の開催	継続	実施中 現状： 2回 目標： 2回	JA組合員等を対象としたJA女性会主催の地元農産物を活用した料理教室を開催しました。 開催回数： 2回	A	目標回数を達成	開催場所の関係もあり、徐々に参加者を増やしていきたい。	JA組合員等を対象としたJA女性会主催の地元農産物を活用した料理教室を開催する。定員15名 現状： 2回 目標： 4回
	講師の派遣 （料理講習会）	継続	実施中 現状： 1回 目標： 1回	中郷公民館で開催された料理教室への講師依頼があり、JA女性部員を講師として派遣しました。 派遣回数： 1回	A	講師の派遣として考えていたが、メニュー作成、食材準備までの用意が必要となった。	地元野菜、季節野菜の活用、郷土料理のメニューづくりが必要と思います。	5年度からは、講師派遣は実施せずに、新規取組事業への移行を検討中。

木更津市食育推進協議会委員関係団体等の食育取組評価（令和4年度）・取組計画（令和5年度）

団体・事業所名 大一青果㈱

協議会委員名 碓井 宏

目標	取組内容	区分	令和4年度取組内容	取組の実施状況（R4）	評価	評価の理由 取組上の課題・問題・改善等	令和4年度実施結果に 基づく改善内容	令和5年度取組内容
持続可能な食を支える	新規就農者等の生産力強化のため支援する	継続	耕作放棄地の再生や生產品の販売促進について、協力し、産地の育成を図ります。 現状：生産者2名 目標：生産者2名	產品の販売ルートの確保と新しい產品を依頼した。 君津市と富津市の生産農家の計2名	A	中山間地の現状は考えている以上に厳しい状況である。 ※B評価でしたが、生産者2名は達成されているのでA評価としました。	木更津市内の農家をサポートする。	木更津市内の農家をサポートする。
地産地消の推進	地元生產品の情報発信のサポート	継続	学校栄養士等の取材のサポートとして、生産者への協力依頼します。 現状：随時 目標：随時	学校栄養士の市場視察を協力のした。	A	目標達成	継続していくためにSNS等による情報発信を続ける。	市場視察や農場視察への協力を行う。 現状：随時 目標：随時
	近在野菜を使用する取り組み	拡大	毎年1月の全国学校給食週間に合わせ実施します。生産者に協力を依頼します。 現状：1回 目標：1回以上	毎年1月の全国学校給食週間に合わせ、生産者に協力を依頼しました。その結果、大根、キャベツ、人参、白菜の4品目を対応した。	A	1品目増加した。		毎年1月の全国学校給食週間に合わせ実施します。生産者に協力を依頼します。 現状：1回 目標：1回
	小学生等の市場見学受入れ	拡大	小学生等の市場見学を受け入れ、市場の役割、近在野菜の生産等への理解を深めます。 現状：1校 目標：2校以上	市内2校を受け入れた。 八幡台小（5月） 富来田小（11月）	A	目標数は達成できたが、見学受入れの情報発信ができていない。	市場見学受入れの情報発信を行う。	小学生等の市場見学を受け入れ、市場の役割、近在野菜の生産等への理解を深めます。 現状：2校 目標：2校以上
学校における給食の推進	学校給食センターとの連携を図り、生産者等の情報提供依頼	新規	生産者へ協力を依頼し、給食だよりへの情報を提供します。 現状：随時 目標：随時	食べ方、栽培方法等を3名の生産者に協力を依頼し、写真を提供した。	A	事前調整し、期間中継続をさせることは難しい。天候不順により荷主（生産者）の変更を調整した。	より細やかな打合せと直前の微調整が必要。	生産者へ協力を依頼し、給食だよりへの情報を提供します。 現状：随時 目標：随時

木更津市食育推進協議会委員関係団体等の食育取組評価（令和4年度）・取組計画（令和5年度）

団体・事業所名 株式会社木更津魚市場

協議会委員名 石井 美夏

目標	取組内容	区分	令和4年度取組内容	取組の実施状況（R4）	評価	一次評価の理由 取組上の課題・問題・改善等	令和4年度実施結果に 基づく改善内容	令和5年度取組内容
小中学生に食の流通に興味を持って頂き食育の推進を図りたい	市場見学をしていた だき、魚市場として の役割を認知して もらう 取り扱う地域海産物 や食材等の食育に努 めます	継続	魚市場としての食育の情報提供を木更津市の小中学校を対象に取り組みます。	魚市場の1日の流れや仕組み、地域で捕れる魚などを独自の資料をもとに小学生でもわかりやすく説明しました。 富来田小5年生（25名）	A	目標達成 コロナが落ち着いてきたので積極的に見学を実施していきたいです。	市場の役割や仕組みをより一層知っていただき、食の流通をきっかけに食に興味を持っていただけるように取り組みます。	市場見学を通して魚市場役割を知っていただき興味を持ってもらう。 地域で捕れる魚などを独自の資料をもとにわかりやすく説明し食育に努めます。 現状：1校 目標：2校以上
地産地消を推進し、地域海産物に関する情報を提供し、興味を持って頂く	近隣の市内公共施設で地域海産物を活用した料理教室	継続	魚市場としての食育の情報提供を近隣の方を対象に取り組みます。	アジ・イナダを食材にした料理教室を開催し、地域で捕れる鮮魚に興味を持って頂くことができました。 中郷公民館 2回（親子11名）	A	目標達成 コロナで参加者のキャンセルもあったが、コロナが落ち着いてきたので積極的に実施していきたいです。	地域海産物の調理方法を知っていただき、食に興味をもっていただけるように取り組みます。	料理教室を通して魚市場役割を知っていただき興味を持ってもらう。 旬の地域食材等の情報提供食育に努めます。 現状：2回 目標：2回以上

木更津市食育推進協議会委員関係団体等の食育取組評価（令和4年度）・取組計画（令和5年度）

団体・事業所名 君津保健所管内栄養士協議会

協議会委員名 木内 多佳子

目標	取組内容	区分	令和4年度取組内容	取組の実施状況（R4）	評価	評価の理由 取組上の課題・問題・改善等	令和4年度実施結果に 基づく改善内容	令和5年度取組内容
栄養バランスに優れた食生活実践の推進	会員の資質向上を目的とした研修会の開催	継続	対象者への効果的な栄養指導の実施や食育の推進を図るため、当団体会員の資質向上を目的とした研修会を開催します。	対象者への効果的な栄養指導の実施や食育の推進を図るため、当団体会員の資質向上を目的とした研修会（外部講師による講演会等）を開催しました。 研修開催回数：2回	A	研修会開催回数の達成	研修会開催回数を増やします。	対象者への効果的な栄養指導の実施や食育の推進を図るため、当団体会員の資質向上を目的とした研修会を開催します。 現状：年2回 目標：年3回
	地場産物を使用した栄養バランスの良い料理レシピの紹介	新規	地場産物を使用した料理レシピと栄養成分を載せたリーフを作成し、農協直売所等に配置します。	リーフ作成に向けて、フォーマットやレシピについて思案しました。 ほぼ完成。	B	フォーマットとレシピがほぼ完成。	農協直売所の担当者と連携し、リーフ配置に向けて取り組みます。	地場産物を使用した料理レシピと栄養成分を載せたリーフを作成し、農協直売所等に配置します。 現状：なし 目標：年2回

木更津市食育推進協議会委員関係団体等の食育取組評価（令和4年度）・取組計画（令和5年度）

団体・事業所名 木更津市教育研究会・学校給食部会

協議会委員名 東清小学校 木村高士

目標	取組内容	区分	令和4年度取組内容	取組の実施状況（R4）	評価	評価の理由 取組上の課題・問題・改善等	令和4年度実施結果に 基づく改善内容	令和5年度取組内容
各小中学校における計画的な食育の推進	食育の指導体制と指導内容の充実	継続	各小中学校において、食育の全体指導の作成と見直しを行い計画的に実施する。 現状：小中27校 目標：全小中30校	ほとんどの小中学校において食育の指導計画作成と見直しをすることができている。 実施校 27校	B	90%の学校が達成	全小中学校において家庭・地域の実態にあった食育の指導内容を検討していく。	各小中学校において、食育の全体指導の作成と見直しを行い計画的に実施する。 現状：小中27校 目標：全小中30校
地産地消の食材を取り入れた献立の充実	学校給食を「生きた教材」として使用	継続	地産地消の食材を給食に取り入れ、千産千消の取組を行う。 現状：81.3% 目標：85%以上	地元で生産された食材を学校給食で提供し、11月の千産千消デーの取組を給食時間での校内放送や給食だより、掲示物、ホームページ等で情報発信した。 【地元生産食材使用率】 71.1%	B	天候等により予定した食材の産地の納品がなかった。旬の季節に合わせた地産食材の活用も必要である。	学校給食課と連携を図りながら、安心安全な地産食材を活用した献立作成を行う。	地元で生産された食材の優先使用に努め、11月の千産千消デーの取組を給食だよりや掲示物等を活用して情報発信をする。 【地元生産食材使用率】 現状：71.1% 目標：85%以上
食に関する情報提供	保護者への情報提供の充実	継続	献立表や給食だよりを家庭に配付し、旬な話題を発信する。 現状：随時（毎月） 目標：随時（毎月）	献立表や給食だよりを毎月発行し、積極的な情報発信をすることができている。 小中学校全校で実施しました。	A	全家庭に献立表や給食だよりを配付しました。	引き続き情報発信に努める。	献立表や給食だよりを家庭に配付し、旬な話題を発信する。 現状：随時（毎月） 目標：随時（毎月）
教職員の食育に対する意識高揚と資質の向上	食育に関する研修や食指導の実践を通して教職員の意識を高めます	継続	教職員の食に関する専門性を高める研修の受講を推進する。 現状：年1回 14校 目標：年1回 30校	栄養教諭や栄養士については、木更津市学校給食部会での研修をはじめ、君津地方学校給食会、その他の研修会に積極的に参加することができました。 14校実施	C	栄養教諭や栄養士のいない学校の受講率に課題がある。	研修会を周知し、積極的な参加を働きかける。	教職員の食に関する専門性を高める研修の受講を推進する。 現状：年1回 14校 目標：年1回 30校

木更津市食育推進協議会委員関係団体等の食育取組評価（令和4年度）・取組計画（令和5年度）

団体・事業所名 小中学校栄養士代表

協議会委員名 坂井 幸栄

目標	取組内容	区分	令和4年度取組内容	取組の実施状況（R4）	評価	評価の理由 取組上の課題・問題・改善等	令和4年度実施結果に 基づく改善内容	令和5年度取組内容
各小中学校における計画的な食育の推進	食育の全体指導計画を把握し、計画的に実施します	継続	食に関する指導計画に学校給食の関わりを明記し、教育活動と関連付けた給食の提供を行います。 現状：4調理施設 目標：5調理施設	食に関する指導計画に学校給食の関わりを明記し、教育活動と関連付けた給食の提供を行った。 提供調理施設数 8調理施設	A	目標調理施設数を達成	献立を作成するうえでの基準を地場産物等の使用計画を作成することで給食時間の充実を図ります。	食に関する指導計画に学校給食の関わりを明記し、教育活動と関連付けた給食の提供を行います。 提供施設数 現状：8調理施設 目標：9調理施設
地産地消の食材を取り入れた献立の充実	地元で生産された食材の積極的な使用に努めます	継続	木更津市内及び近隣市・千葉県で生産された給食食材を優先的に使用します。 現状：81.3% 目標：85%以上	地元で生産された食材を学校給食で提供し、11月の千産千消デーの取り組みを給食時間での校内放送や給食日より、掲示物、ホームページ等で情報発信した。 【地元生産食材使用率】 71.1%	B	天候等により予定した食材の産地の納品がなかった。旬の季節に合わせた地産食材の活用も必要である。	協力関係者と連携を図りながら、安心安全な地産食材を活用した献立作成を行います。	地元で生産された食材の優先使用に努め、11月の千産千消デーの取り組みを給食日よりや掲示物等を活用して情報発信する。 【地元生産食材使用率】 現状：71.1% 目標：85%以上
食育に関する情報の提供	保護者へ食育に関する情報発信の充実を図ります	継続	給食日より臨時号、学校ホームページ等で発信します。 現状：年1回以上 目標：年2回以上	毎月の給食日より等で地元で生産された食材を活用した給食紹介等の情報を発信した。特に市制施行80周年記念給食は、近隣市でとれた食材を使用したレシピを給食日より等で発信しました。 【情報発信回数】 全校で2回以上実施しました。	A	テーマに沿った情報を発信し、目標を達成	市の取り組む情報を共有するとともに学校給食と関連付けた情報を発信します。	旬な話題を給食日より臨時号等で発信します。 【情報発信回数】 現状：年2回以上 目標：年2回以上
食育に対する意識高揚と資質の向上	食育に関する研修を受講します	継続	食育に関する研修を受講します。 現状：年1回 目標：年2回以上	県からの情報を基に、学校給食を活用し教職員が連携した食育や安全・安心な食品選定及び衛生管理等の研修を受講しました。 全ての栄養士が2回以上受講しました。	A	目標受講回数を達成。受講内容は、教職員間で共有が必要である。	食育に関する情報は教職員間での発信に努める。	食育に関する研修を積極的に受講し、教職員へ発信する。 現状：年1回 目標：年2回以上

木更津市食育推進協議会委員関係団体等の食育取組評価（令和4年度）・取組計画（令和5年度）

団体・事業所名 木更津市社会福祉協議会

協議会委員名 上野 順子

目標	取組内容	区分	令和4年度取組内容	取組の実施状況（R4）	評価	評価の理由 取組上の課題・問題・改善等	令和4年度実施結果に 基づく改善内容	令和5年度取組内容
食品ロス削減の推進	食品ロスの削減を広く訴え、受け皿としてのフードバンクの充実を図る	継続	社協広報誌及びHPなどを通じてフードバンクの紹介と食品ロスの削減を結び付けたPRを展開します。 現状：なし 目標：PRの運用開始、1回	社会福祉協議会広報への掲載は、紙面の都合で掲載できなかった、フードバンクのPRは通年実施し、その結果、1902.2kgの食品が集まり、フードバンクちばに年3回（905.7kg）提供した。フードパントリーを実施した結果、57世帯へ食料を配布し、食品ロス削減の取組を行った。	B	HP広報紙によるPRはできなかったが、福祉会館でのポスター掲示、地区協議会等で周知した結果、食品ロス削減が図られた。	広く市民へ周知を図るため、広報紙やHP等でPRしていく。	社協広報紙及びHP、民生委員の定例会などにて、フードバンクの紹介と食品ロスの削減を結び付けたPRを展開し、フードバンクへの積極的な協力を実施します。

木更津市食育推進協議会委員関係団体等の食育取組評価（令和4年度）・取組計画（令和5年度）

団体・事業所名 木更津市食生活改善サポーターの会

協議会委員名 北原 美奈子

目標	取組内容	区分	令和4年度取組内容	取組の実施状況（R4）	評価	評価の理由 取組上の課題・問題・改善等	令和4年度実施結果に 基づく改善内容	令和5年度取組内容
食文化の継承活動の推進	地域の伝統的な食文化の普及啓発	継続	地域の伝承料理や特産品を使った講習会を市内学校に通う児童・生徒や、公民館等で市民を対象に年3回以上実施します。 現状：R3年コロナにより見合わせ 目標：3回以上実施	学校や公民館から依頼のあった、地域の伝承料理や特産品を使った講習会を市内学校に通う児童・生徒、市民を対象に5回実施しました。	A	目標回数を達成	引き続き、伝承料理等の講習会を実施し、併せて健康づくりについての啓発も行っていく。	地域の伝承料理や特産品の啓発を、市内学校に通う児童・生徒、市民を対象に年5回以上実施します。 現状：5回実施 目標：5回以上実施
ライフスタイルや多様な暮らしに対応した食育の推進	健全な食生活を実践できる人の増加を目指し、健康推進事業と連動した啓発活動を行う	継続	若年期健康診査(対象:30歳代の市民の方)会場での朝食についてのリーフレット配布します。 現状：R3年 1回実施(コロナで2回中止) 目標：3回実施	若年期健康診査(対象:30歳代の市民の方)会場での朝食についてのリーフレット配布を3回(246名)実施しました。	A	目標回数を達成	引き続き、健診等の不特定多数の住民へアプローチできる場を活用し、より多くの子育て世代への啓発活動を行う。	乳幼児健康診査等の会場で健診に来院した保護者を対象に、朝食摂取についてのリーフレットを配布します。 現状：3回実施 目標：30回以上(800名前後)実施
	料理教室を通して栄養バランスのよい食の普及啓発	継続	公民館等で市民を対象とした料理教室(講習会)を開催します。 現状：R3年 1回(コロナで3回中止) 目標：1回以上実施	公民館等で市民を対象とした料理教室(講習会)を4回開催しました。	A	目標回数を達成	依頼のない公民館については、サポーターから公民館へ講習会の提案を行う。	公民館等で市民を対象とした料理教室(講習会)を開催します。 現状：4回実施 目標：4回以上実施
地産地消の推進	地元農産物の情報提供	継続	地元農産物のレシピを紹介します。 現状：R3年 2回(イオンモール木更津での展示1回、公民館展示1回) 目標：3回以上	地元農産物のレシピを7回紹介しました。 イオンモール木更津 1回(782名) 中央公民館 1回 桜井公民館 1回 広報きさらづ 4回(1回あたり47,000部)	A	目標回数を達成	引き続き地元農産物を活用したレシピを紹介し、野菜摂取の啓発を行う。	地元農産物のレシピを作成・紹介します。 現状：7回実施 目標：7回以上

木更津市食育推進協議会委員関係団体等の食育取組評価（令和4年度）・取組計画（令和5年度）

団体・事業所名 木更津市シニアクラブ連合会

協議会委員名 高安 清美

目標	取組内容	区分	令和4年度取組内容	取組の実施状況（R4）	評価	評価の理由 取組上の課題・問題・改善等	令和4年度実施結果に 基づく改善内容	令和5年度取組内容
健康で壮年期を過ごす	毎日、なるべく12品目を地元農産物で食するよう啓発を行う	新規	21のシニアクラブ全てで食についての取組みを行うよう、連合会理事会等で啓発を行います。（現状：1/3） 現状：なし 目標：1回以上行う	連合理事会でのみの啓発となり、単位クラブでの啓発はなかった。	C	単位クラブで更なる啓発ができるよう、チラシや講師を呼びなどの活動を行いたい。	理事役員だけでなく、一般会員にも更なる啓発を行う。	各単位クラブの例会等に地域包括支援センターから講師を招き、食育についての理解を深め啓発を行う。

木更津市食育推進協議会委員関係団体の食育推進活動一覧

	分野	団体名	取り組み	備考
1	生産者事業者	木更津市農業協同組合	○	P27
2		高倉農産物直売センター		
3		大一木更津青果(株)		
4		(株)木更津魚市場		
5		(株)耕す		
6		(株)ごはんクリエイト	○	P28
7		きさらづアグリフーズ推進協議会		
8		イオンスタイル木更津店		
9	医療・保健 関係者	君津木更津医師会	○	P29
10		君津木更津歯科医師会		
11		君津保健所管内栄養士協議会		
12	教育児童 福祉関係者	木更津市保育協議会		
13		木更津市小中学校長会		
14		小中学校栄養士代表(教育委員会)		
15		木更津市社会福祉協議会		
16	学識経験者	千葉県立保健医療大学		
17	市民団体等	木更津市PTA連絡協議会		
18		木更津市食生活改善サポーターの会		
19		木更津市シニアクラブ連合会		

【食育推進アクションプラン令和5年度新規取組事業計画】

団体・事業所名 木更津市農業協同組合

協議会委員名 鈴木 正則

例)

目標	取組内容	区分	年度別計画			
			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
地産地消の推進	〇〇飲食店組合での取組とし、年度毎に目標を決め取組み	新規	組合の取組とするための合意形成を図り、年度毎の取組みを決める 現状：取組なし 目標：取組の決定	食材の地元産表示の取組（以後毎年実施） 現状：取組なし 目標：100%実施	各店地元産1品以上を取り入れる取組（以後毎年実施） 現状：取組なし 目標：100%実施	地元産品を使用したメニュー開発 現状：取組なし 目標：100%実施
地産地消の推進	料理教室の開催	新規	小学生を対象に、JA女性部員が講師となり、地元農産物を活用した郷土料理（太巻き寿司）の料理教室開催を検討する。 現状：なし 目標：1回	小学生を対象とした郷土料理の料理教室を開催する 現状：なし 目標：1回	小学生を対象とした郷土料理の料理教室を開催する 現状：なし 目標：1回	小学生を対象とした郷土料理の料理教室を開催する 現状：なし 目標：1回
			現状： 目標：	現状： 目標：	現状： 目標：	現状： 目標：
			現状： 目標：	現状： 目標：	現状： 目標：	現状： 目標：
			現状： 目標：	現状： 目標：	現状： 目標：	現状： 目標：

※目標はできるだけ数値を記載ください

【食育推進アクションプラン令和5年度新規取組事業計画】

団体・事業所名 (株) ごはんクリエイト

協議会委員名 野口 利一

例)

目標	取組内容	区分	年度別計画			
			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
地産地消の推進	〇〇飲食店組合での取組とし、年度毎に目標を決め取組む	新規	組合の取組とするための合意形成を図り、年度毎の取組を決める 現状：取組なし 目標：取組の決定	食材の地元産表示の取組（以後毎年実施） 現状：取組なし 目標：100%実施	各店地元産1品以上を取り入れる取組（以後毎年実施） 現状：取組なし 目標：100%実施	地元産品を使用したメニュー開発 現状：取組なし 目標：100%実施
地産地消の推進	市内飲食店での取組みとして年度毎に目標を決め取組む	新規	木更津産の食材を市内飲食店に周知する。 現状：木更津産クラムチャウダーのレシピや食材ルート含めルール作成済み 目標：市内各店と共有し、5店舗以上の参加を募る	地域食材を巡るツアーを開催する 現状：観光協会、商工会議所と情報を集め、可能か確認中 目標：参加者20名、10店舗参加で実施	子どもたちを含めて、市内生産者や飲食店が料理教室を開催する 現状：鳥居崎海浜公園で開催可能か確認中 目標：年間1回開催	R5～R7に実施したことを年間スケジュールで実施 現状：取組なし 目標：地産地消推進店を30店舗に
			現状： 目標：	現状： 目標：	現状： 目標：	現状： 目標：
			現状： 目標：	現状： 目標：	現状： 目標：	現状： 目標：
			現状： 目標：	現状： 目標：	現状： 目標：	現状： 目標：

※目標はできるだけ数値を記載ください

【食育推進アクションプラン令和5年度新規取組事業計画】

団体・事業所名 君津木更津医師会

協議会委員名 天野 隆臣

目標	取組内容	区分	年度別計画			
			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
例) 地産地消の推進	〇〇飲食店組合での取組とし、年度毎に目標を決め取組	新規	組合の取組とするための合意形成を図り、年度毎の取組を決める 現状：取組なし 目標：取組の決定	食材の地元産表示の取組（以後毎年実施） 現状：取組なし 目標：100%実施	各店地元産1品以上を取り入れる取組（以後毎年実施） 現状：取組なし 目標：100%実施	地元産品を使用したメニュー開発 現状：取組なし 目標：100%実施
地元小中学校に向けた食育の推進	学校医活動を通じ食育を推進していく	新規	学校医、学校職員、保護者の集まりを通じ必ず朝食をとり、登校することを周知していく。 現状：なし 目標：会員への周知	取組努力していく 現状：なし 目標：会員への周知	取組努力していく 現状：なし 目標：会員への周知	取組努力していく 現状：なし 目標：会員への周知
			現状： 目標：	現状： 目標：	現状： 目標：	現状： 目標：
			現状： 目標：	現状： 目標：	現状： 目標：	現状： 目標：
			現状： 目標：	現状： 目標：	現状： 目標：	現状： 目標：

※目標はできるだけ数値を記載ください